第 8605 号 本文

官報 第八千六百五號 明治四十五年二月二十八日 水曜日 印刷局

○勅令

朕臨時軍用氣球研究會官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十五年二月二十七日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
海軍大臣 男爵齋藤實
陸軍大臣 男爵石本新六

勅令第十四號

臨時軍用氣球研究會官制中左ノ通改正ス

第二條中「二十八」ヲ「三十八」ニ「本職アル陸海軍佐尉官及海軍機關佐尉官」ヲ「本職アル陸海軍將校同相當官」ニ改メ「佐尉官相當官タル本職アル海軍造船造兵官」ヲ削ル

第五條中「陸軍佐尉官」ヲ「陸軍將校」ニ改ム

第七條 會長ハ近衞師團長ノ承認ヲ受ケ交通兵旅團ニ屬スル諸隊ノ所屬人員及材料ヲ使用スルコトヲ得

第九條第一項ヲ左ノ如ク改ム

臨時軍用氣球研究會ニ書記ヲ置キ陸軍判任文官ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條 臨時軍用氣球研究會ニ屬スル物件ノ管理ハ氣球隊長ヲシテ之ヲ擔任セシム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕陸軍省臨時職員增置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十五年二月二十七日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
陸軍大臣 男爵石本新六

勅令第十五號

臨時軍用氣球研究會ノ事務ニ從事セシムル爲臨時陸軍省ニ屬及技手五人以內ヲ增置スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○府令

朝鮮總督府令第十二號

漁業稅令施行規則左ノ通定ム

明治四十五年二月二十三日 朝鮮總督 伯爵寺內正毅

漁業稅令施行規則

第一條 捕鯨業者ハ每年捕獲シタル鯨ノ頭數ヲ翌年一月三十一日迄ニ朝鮮總督ニ申告スヘシ

第二條 漁業稅令第三條ノ規定ニ依リ課稅標準ヲ決定シタルトキハ朝鮮總督之ヲ漁業者ニ通知ス但シ漁業者ノ申告シタル課稅標準ヲ是認シタルトキハ通知ヲ省略ス

第三條 漁業ノ許可狀又ハ鑑札ノ有效期間カ一年ヲ超ユル場合ニ於テ課稅標準トナルヘキモノニ變更ヲ生シタルトキハ漁業者ハ之ヲ朝鮮總督ニ申告スヘシ

第四條　漁業權ノ存續期間カ一年ヲ超ユル場合ニ於テ漁業稅令第二條第一項第二號ノ規定ニ依ル採捕物見積價格カ採捕物ノ實際ノ價格ト著シク差違ヲ生シタルトキハ漁業者ハ採捕物見積價格ノ變更ヲ求ムルコトヲ得

漁業者前項ニ依リ採捕物見積價格ノ變更ヲ求メタルトキハ一年間ニ採捕シタル採捕物ノ種類、數量、價格及變更ヲ要スル事由ヲ具シ當該年度經過後一月以內ニ朝鮮總督ニ願出ツヘシ

第五條　漁業者漁業稅令第六條ノ規定ニ依リ漁業稅ノ減免ヲ求メムトスルトキハ其ノ臧免ヲ求ムル期間、稅額及事由ヲ具シ朝鮮總督ニ願出ツヘシ

第六條　漁業權ノ存續期間又ハ許可狀ノ有效期間カ一年ヲ超ユル場合ニ於テ免許漁業又ハ第一種許可漁業若ハ第二種許可漁業ヲ爲ス漁業者朝鮮內ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ其ノ漁場ヲ管轄スル府、郡ニ納稅管理人ヲ置キ其ノ住所氏名ヲ府尹又ハ郡守ニ申告スヘシ其ノ管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ

漁場カ二府郡以上ニ跨リ又ハ漁場ヲ管轄スル府、郡明確ナラサルトキハ前項ノ納稅管理人ハ其ノ漁場ニ關係最モ多キ府郡ニ之ヲ置クヘシ

納稅管理人其ノ住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク府尹又ハ郡守ニ申告スヘシ

第七條　漁業稅令第七條第一項ノ規定ニ依ル漁業稅ハ漁業ノ免許狀、許可狀又ハ鑑札ノ交付ヲ受クルトキ納付書ニ漁業稅ニ相當スル收入印紙ヲ貼用シテ府尹又ハ郡守ニ納付スヘシ

漁業稅令第七條第二項及第三項ノ規定ニ依ル漁業稅ハ府尹又ハ郡守ヨリ送付スル納付書ニ漁業稅ニ相當スル收入印紙ヲ貼用シテ當該府、郡ニ納付スヘシ但シ漁業者ニ於テ便宜トスルトキハ府尹又ハ郡守ニ申出テ納稅告知書ノ發付ヲ受ケ現金ヲ以テ納付スルコトヲ得

第八條　第一條、第二條及第六條ノ申告ヲ爲シ又ハ虛僞ノ申告ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ漁業稅令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樣式

免許（許可）（鑑札）番號　第　「何」　號

漁業稅納付書

一金「何」程

但自明治「何」年「何」月「何」日至「何」年分

右納付ス

明治「何」年「何」月「何」日　住所（居所）　氏名　㊞

「何」府尹（郡守）宛

收入印紙貼附欄	印紙	印紙	印紙

備考

一番號欄ニハ免許番號、許可番號又ハ鑑札番號ヲ記入スヘシ

朝鮮總督府令第十三號

水產組合規則左ノ通定ム

明治四十五年二月二十三日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

水產組合規則

第一條　本令ニ於テ組合ト稱スルハ漁業令第十八條ノ規定ニ依リ設立スル水產組合ヲ謂フ

第二條　組合ノ名稱中ニハ水產組合ナル文字ヲ用ウヘシ

組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ水產組合ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第三條　組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　組合設立ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ發起人ハ組合區域ヲ定メ其ノ區域內ノ組合員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ定メタル定款、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及賦課徵收方法ヲ具シ願出ツヘシ但シ二種以上ノ營業者ヲ以テ組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ各種營業每ニ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

組合員タルヘキ者ハ他ノ營業者ニ委任シテ前項ノ同意ヲ表スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ受任者ハ委任狀ヲ發起人ニ差出スヘシ

第五條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及業務

二　名稱

三　組合ノ區域及組合員ノ資格

四　事務所ノ所在地

五　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定

六　役員ニ關スル規定

七　會議ニ關スル規定

八　會計及財產ニ關スル規定

九　業務ノ執行ニ關スル規定

十　逢約者ノ處分ニ關スル規定

十一　存續期間又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ期間又ハ事由

十二　清算ニ關スル規定

第六條　組合ハ設立ノ許可アリタルトキ成立ス

組合成立シタルトキハ其ノ區域內ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ定款ニ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第七條　組合ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ

組合長

理事

監事

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

役員ハ組合員總會ニ於テ之ヲ選任スヘシ但シ設立ノ際ニ限リ發起人ニ於テ之ヲ選任スルコトヲ得

監事ハ他ノ役員又ハ事務員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第八條　組合長ハ組合ノ業務ヲ執行シ組合ヲ代表ス

理事ハ組合長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌理シ組合長故障アルトキハ之ヲ代理ス

監事ハ組合ノ財產及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

組合長理事共ニ故障アルトキハ監事之ヲ代理ス

組合長ハ定款ノ規定ニ依リ其ノ事務ノ一部ヲ他ノ役員ニ委任スルコトヲ得

第九條　役員ノ選任及解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ役員ノ改選又ハ解任ヲ命スルコトヲ得

役員ノ死亡又ハ任期滿了ニ因ル退任ハ地方長官ニ屆出ツヘシ

第十條　役員ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ假ニ役員ヲ選任シ其ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十一條　左ノ事項ハ組合員總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ初年度ニ於ケル第一號及第二號ノ事項ハ此ノ限ニ在ラス

一　經費ノ收支豫算

二　經費ノ賦課徵收方法

三　起債及償還ノ方法

四　定款ノ變更

五　組合ノ解散

前項第三號乃至第五號ニ揭ケタル事項ノ決議ハ總組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ定款ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項第一號及第二號ニ揭ケタル事項ノ決議ハ地方長官、第三號乃至第五號ニ揭ケタル事項ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十二條　組合員總會ハ組合長之ヲ招集ス

總組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及事由ヲ示シテ組合員總會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三週間內ニ之ヲ招集スヘシ

監事ハ組合財產又ハ業務執行ノ狀況ニ付報告ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ組合員總會ヲ招集スルコトヲ得

第十三條　總會ヲ招集スルニハ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ定款ノ定ムル所ニ依リ各組合員ニ通知シ又ハ之ヲ公告スヘシ

第十四條　組合長ハ每年經費ノ收支決算書、財產目錄及業務報告書ヲ調製シ監事ノ審查ヲ受ケ之ヲ組合員總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

前項ノ承認ヲ得タルトキハ之ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第十五條　組合員ハ其ノ總會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス

組合員總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス

前項ノ受任者ハ委任狀ヲ組合ニ差出スヘシ

第十六條　組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設クルコトヲ得

總代會ヲ組織スル總代ノ員數、選任、任期及解任ニ關スル規定ハ之ヲ定款中ニ設クヘシ

第九條ノ規定ハ之ヲ總代ニ、組合員總會ニ關スル規定ハ前條第二項及第四項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ總代會ニ準用ス

第十七條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　存續期間ノ滿了

二　定款ニ定メタル事由

三　組合員總會ノ決議

四　解散ノ命令

前項第一號又ハ第二號ニ揭ケタル事由ニ因リ解散シタルトキハ其ノ旨直ニ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第十八條　組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十九條　組合カ解散シタルトキハ組合長其ノ清算人ト爲ル但シ定款ニ別段ノ規定アルトキ又ハ組合員總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

清算人ノ選任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ清算人ノ改選若ハ解任ヲ命シ又ハ之ヲ選任スルコトヲ得

第二十條　清算人ハ現務ノ結了、債權ノ取立、債務ノ辨濟及殘餘財產ノ處分其ノ他清算ニ關シ必要ナル行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十一條　清算人ハ就職後遲滯ナク組合財產ノ現況ヲ調查シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ殘餘財產ノ處分方法ヲ定メ組合員總會ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十二條　清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ殘餘財產ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條　清算カ結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク清算報告書ヲ作リ組合員總會ノ承認ヲ經タル後之ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ
第二十四條　地方長官ハ何時ニテモ組合ノ業務及財産ニ關シ報告書ヲ徵シ又ハ其ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
第二十五條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ組合ニ對シ定款ノ變更又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトアルヘシ
第二十六條　組合ハ相互ノ利益ヲ圖ル爲朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ聯合會ヲ設クルコトヲ得
前項ニ依リ聯合會ヲ設ケムトスルトキハ必要ナル事項ヲ定メ其ノ事由ヲ具シ各組合ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ
第二十七條　組合ノ區域カ二以上ノ地方長官ノ管轄ニ跨カルトキハ本令中地方長官ニ屬セシメタル職權ハ朝鮮總督又ハ朝鮮總督ノ指定シタル地方長官之ヲ行フ
第二十八條　第二條第二項又ハ第六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
組合ノ證票若ハ檢査證ヲ營業品ニ僞リテ附シタル者亦前項ニ同シ
第二十九條　組合ノ行爲ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ役員又ハ清算人ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一　官廳ニ對シ不實ノ申告ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
二　官廳ノ徵スル報告ヲ差出サス又ハ其ノ檢査ヲ拒ミ其ノ他官廳ノ命令ニ從ハサルトキ
三　本令ニ依ル屆出ヲ怠リタルトキ
四　本令ニ依ル組合員總會ノ招集ヲ怠リタルトキ
五　文書帳簿ニ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ故意ニ必要ノ事項ヲ記載セサルトキ
六　監事ノ調査ヲ妨ケタルトキ
七　本令ニ違反シテ殘餘財産ヲ處分シタルトキ

附　則

本令ハ漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
漁業令第三十五條ニ規定スル水產組合ハ本令ノ規定ニ依リ定款ヲ變更シ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ朝鮮總督ニ其ノ認可ヲ申請スヘシ

朝鮮總督府令第十四號
漁業組合規則左ノ通定ム
明治四十五年二月二十三日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

漁業組合規則

第一條　本令ニ於テ組合ト稱スルハ漁業令第十六條ノ規定ニ依リ設立スル漁業組合ヲ謂フ
第二條　組合ノ地區ハ面ノ區域又ハ面內ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定メ重複スルコトヲ得ス但シ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第三條　組合ノ名稱中ニハ漁業組合ナル文字ヲ用ウヘシ
組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ漁業組合ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
第四條　組合設立ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ發起人ハ組合ノ地區タルヘキ區域內ニ居住スル漁業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ定メタル規約、初年度ニ於ケル經費ノ收支豫算及賦課徵收方法ヲ具シ願出ツヘシ但シ特別ノ事情ニ依リ區域內ノ漁業者ノ一部ヲ以テ組合ヲ設立セムトスルトキハ其ノ組合員タルヘキ漁業者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テスヘシ
組合員タルヘキ漁業者ハ他ノ漁業者ニ委任シテ前項ノ同意ヲ表スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ受任者ハ委任狀ヲ發起人ニ差出スヘシ
第五條　規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　目的
二　名稱
三　地區及前條但書ノ規定ニ依リ設立スル場合ニ在リテハ組合員ノ資格
四　事務所ノ所在地
五　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定
六　役員ニ關スル規定
七　會議ニ關スル規定
八　會計及財産ニ關スル規定
九　組合ノ取得シ又ハ貸付ヲ受ケタル漁業權ノ行使及組合員ニ非サル者ノ入漁ニ關スル規定
十　共同施設事業ノ執行ニ關スル規定
十一　違約者ノ處分ニ關スル規定
十二　存續期間又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ期間又ハ事由
十三　清算ニ關スル規定
第六條　組合ハ設立ノ許可アリタルトキ成立ス
組合成立シタルトキハ其ノ地區內ニ居住スル漁業者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ第四條但書ノ規定ニ依リ組合ヲ設立シタル場合ニ於テ其ノ組合員タルヘキ漁業者亦同シ
第七條　組合ニハ左ノ役員ヲ置クヘシ
組合長
監事
前項ノ役員ノ外規約ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得
役員ハ組合員總會ニ於テ之ヲ選任スヘシ但シ設立ノ際ニ限リ發起人ニ於テ之ヲ選任スルコトヲ得
監事ハ他ノ役員又ハ事務員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第八條　組合長ハ組合ノ業務ヲ執行シ組合ヲ代表ス
監事ハ組合ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査ス
組合長故障アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ他ノ役員之ヲ代理ス
第九條　左ノ事項ハ組合員總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ初年度ニ於ケル第一號及第二號ノ事項ハ此ノ限ニ在ラス
一　經費ノ收支豫算
二　經費ノ賦課徵收方法
三　漁業權ノ得喪、變更又ハ借受
四　基金ノ支出又ハ其ノ利用方法
五　起債及償還ノ方法
六　組合員ノ除名
七　組合員ニ非サル者ニ對スル漁業權ノ貸付
八　規約ノ變更
九　組合ノ解散
前項第三號、第五號及第七號乃至第九號ニ揭ケタル事項ノ決議ハ總組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス
第一項第一號、第二號、第四號及第六號ニ揭ケタル事項ノ決議ハ地方長官、第五號、第八號及第九號ニ揭ケタル事項ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス
第十條　組合長ハ每年經費ノ收支決算書、剩餘金ノ處分書、財産目錄及事業報告書ヲ調製シ監事ノ審査ヲ受ケ之ヲ組合員總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
前項ノ承認ヲ得タルトキハ之ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ
第十一條　組合ハ每事業年度ノ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ基金トシテ積立ツヘシ
基金ハ天災其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合又ハ著シク組合員共同ノ利益ヲ增進スル爲必要ナル場合ヲ除クノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス
第十二條　組合ニ關シテハ水產組合規則第九條、第十條、第十二條、第十三條、第十五條乃至第二十六條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス
第十三條　第三條第二項又ハ第六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
第十四條　組合ノ行爲ニシテ本令ニ依ル基金ノ積立ヲ爲サス又ハ之ヲ不當ニ支出シタルトキハ其ノ役員又ハ清算人ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
一定ノ地區內ニ居住スル漁業者ニシテ漁業令第十七條第一項ニ規定スル目的ヲ以テ本令施行前主務官廳ノ許可ヲ受ケ組合ヲ設立シタルモノハ本令施行後六月內ニ本令ノ規定ニ依リ組合設立ノ許可ヲ願出ツヘシ
前項ニ規定スル本令施行前ノ設立ニ係ル組合ハ前項出願ノ許否處分ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ依ル

朝鮮總督府令第十五號
漁業令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十五年二月二十三日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

○告示

內務省告示第十四號
一　明治四十五年九星便　一册　京都市麩屋町通上ル　荒木重　發行
一　明治四十五年九星便　一册　京都市麩屋町通上ル　荒木義　發行
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス
明治四十五年二月二十八日　內務大臣　原敬

陸軍省告示第四號
臨時陸軍建築部東京支部千葉出張所ハ明治四十五年二月二十九日限リ之ヲ閉鎖ス
明治四十五年二月二十八日　陸軍大臣　男爵石本新六

文部省告示第四十號
鹿兒島縣知事ハ管內鹿兒島港ニ設置セル縣設暴風雨標信號揭卸中止ノ處明治四十五年二月十五日ヨリ開始ノ旨屆出タリ
明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

文部省告示第四十一號
大阪府堺市車之町ニ徒弟學校規程ニ依リ大阪府堺市立堺女子手藝學校ヲ設置シ明治四十五年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

文部省告示第四十二號
三重縣宇治山田市立實科高等女學校ヲ同縣同市ニ設置シ明治四十五年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

文部省告示第四十三號
福島縣立工業學校ニ併置セル徒弟學校規程ニ依ル漆工科及窯業科ヲ明治四十五年四月一日ヨリ工業學校規程ニ依ルコトト爲スノ件認可セリ
明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

第8605号　本文

文部省告示第四十四號

西頸城郡立糸魚川實科高等女學校ヲ新潟縣西頸城郡糸魚川町ニ設置シ明治四十五年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

文部省告示第四十五號

北海道函館區相生町ニ設置セル私立堀川商業學校廢止ノ件認可セリ

明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

文部省告示第四十六號

群馬縣立工業學校

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

但シ認定ノ效力ハ別科生及講習生ニ及ハス

明治四十五年二月二十八日　文部大臣　長谷場純孝

農商務省告示第四十五號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ長野縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セス

明治四十五年二月二十八日　農商務大臣　男爵牧野伸顯

縣	郡	村	字	地番	面積（町段畝歩）
長野	埴科	倉科	倉科山	二、三三一ノ一	一〇三、九二二五
同	同	同	同	同ノ二	五四、八八一七
同	北安曇	會染	野山	二、一一三六號	三一、五〇〇〇ノ内 一九、二七〇九

農商務省告示第四十六號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十五年二月二十八日　農商務大臣　男爵牧野伸顯

字	地番	面積（段畝歩）
長野縣上伊那郡長藤村		
石見堂	二、五六一	二二一〇
同西箕輪村		
御射山	三、八五三	一一二〇
同美和村大字溝口		
中山	五四四	八〇三
同赤穗村		
三ツ石八劔社朱引外	一八	八二三
春日社朱引外	六、七三七	一五〇二
同宮田村		
宮林	一、二七二一號	七九二五ノ内 二八二五
同西春近村		
白山澤	六七一	二〇二四
同西箕輪村		
瀬戸林	六、三四二	二〇九
同飯島村大字飯島		
御明	三、六五九	九〇六
鳥居原	二九二	四一七
石曾根	一、八四九ノ一	二〇六
同伊那富村大字伊那富		
今村	二、〇五二	五一二三
後澤	二、〇四八	五一九
堤原	四、四八三	一五一三
同美篶村		
上井	一、三三〇	二七
下羽場	四、七八七	六〇三
羽場	五、九九九	六一五
同上片桐村		
鵜部	四、七二一	一一一〇
諏訪方	三、一三五ノ一	二一一
大柏	四、三〇九	一〇一四
同伊那町大字伊那		
杉ノ澤口	九、九三一ノ一	三一一四
宮ノ上	七、四五六ノ一	二四一四
同西筑摩郡王瀧村		
二子持	一六五	四三二一
淀地	二、〇四三ノ一	五〇〇
瀧越	五、一〇一ノ一	二八〇三
同日義村		
西山	一〇イ號三	四六〇〇ノ内 一〇
同下伊那郡濟內路村		
宮	二、四五一ノ一	一六二七

農商務省告示第四十七號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十五年二月二十八日　農商務大臣　男爵牧野伸顯

字	地番	面積（段畝歩）	所有者
長野縣南佐久郡北牧村大字稻子			
村入日影	一、三四三イ號ノ二	九六〇〇	北原 助三郎 外二人
同北安曇郡美麻村			
大明神	六、三〇五	三八一〇	西澤 佐五平
城山	二五、四六一	一七一五	小林 相作
同上水內郡水內村大字上條			
杖突	四八二	六一六	清水 祿造
同	四八三	四〇六	
同	四八四一	一〇六	清水 才吉
同	同 四	一〇七	
同	四八七一	三二一	清水 廣作
同	五一一一	一〇〇	久保田 宇市
同	五一四一	九一五	清水 茂三郎
同	五一七イ一	二二二	久保田 宇市
同	五一九四	二一	久保田 梅作
同	五二〇	二一〇	久保田 宇市
同	五二一イ	四二三	
同	同 ロ	一二四	
同	五二二イ	二二〇〇	清水 茂三郎
同	同 ロノ一	一一二五	
同	五二三イ	一六一五	久保田 梅作
同	同 ロノ一	一二〇	
同	同 ロノ四	二〇七	
同	五二四イ	一六〇〇	鹽入治右衛門
同	同 ロノ一	二二一	
同	五九〇	二〇二四	久保田 宇市
同	五九二ノ一	六一二	清水 茂三郎
同大字水內			
猿子	三	五二五	關崎 勝吉
同	四	三〇八	關崎 鐵之助
同	五イ	二〇〇〇	清水 三代吉
同	六イ	一七二四	關崎 勘助
橋場	七イ	二〇二	清水 寅重
猿子	四四イ	二一四	關崎 勝吉
同	四五	二三一	關崎 熊重
同	五〇	六〇五	關崎 勝吉
同	八五イ四	一三二二	關崎 勘助
同	同 ロ	四一〇	
同	八六	一七二三	關崎 鐵之助
同	九〇イ	一三一〇	關崎 齋太
逸川沖	一、四六九	二二二四	關崎 勘助
江戸尻沖	一、五三五ロノ一	三一〇三	清水 三代吉
	同 ロノ二	二七	
同	一、五七八	一二〇〇	松尾 榮作
同	一、五七九イ	二七〇六	廉澤 善作
同	一、五八〇イ	六五一四	松尾 榮作
龍宮	四、六六〇	一二〇〇	北原 彌作
岩內	四、八四五	八一二	北原 健治
同	四、八四六イ	一〇二二	北原 駒吉
同	同 ロ	九〇五	北原 善市
地藏平沖	五、八〇九ロ	二一〇四	唐木田 與吉
穴平	六、〇〇四	一二一三	
秋葉山	二、八五九	四八二八	牛澤 保吉
同	二、八六〇	一八一〇	
同	二、八六一	六〇〇〇	松尾 榮作
同	二、八六二	一五〇二	清水 德重
同	二、八六三	一九〇五	松尾仲右衛門
同	二、八六四	三二七	松尾 作重
同	二、八六六ノ一	實測 九二三ノ内 一五二三	小林 勝吉
同	二、八六七イ 二、八六八 合併	一二一〇	廉澤 定七
同	二、八六七ロ	一〇二	松尾仲右衛門
同津和村大字山穗苅			
別當堂	二、二三九ロ	三〇四	金田 增治
同	同 ハ	九二〇	
同	二、二四〇イ	一〇二一	
同	二、二四四イ	五二〇	小池 三津司

遞信省告示第百六十五號

明治四十三年三月遞信省告示第四百三十五號別表中左ノ通改正シ來三月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年二月二十八日　遞信大臣　伯爵林董

一大阪遞信管理局ノ部大阪鐵道郵便局ノ所掌線路區域中「大阪綾部線」ヲ「大阪新舞鶴線」ニ「京都新舞鶴線」ヲ「京都今市線ノ內京都和田山間」ニ改メ及「福知山和田山線」ヲ削ル

一神戸遞信管理局ノ部神戸鐵道郵便局ノ所掌線路區域中「姫路香住線」ヲ「姫路和田山線」ニ及米子郵便局ノ所掌線路區域「濱坂今市線」ヲ「京都今市線ノ內和田山今市間」ニ改ム

遞信省告示第百六十六號

明治四十二年十一月遞信省告示第千百五十五號遞信官吏練習所規則中左ノ通改正ス

明治四十五年二月二十八日　遞信大臣　伯爵林董

第七條ノ技術科學科目中「五電線建築學」ノ次ニ「六無線電信學」ヲ加ヘ「六電氣實驗」ヲ「七電氣實驗」ト爲シ以下順次繰下ク又電信科學科目中「三電信學」ノ次ニ「四無線電信學、五電氣學」ヲ加ヘ「四電信實驗」ヲ「六電信實驗」ト爲シ以下順次繰下ク

第八條及第十條中「四月」ヲ「六月」ニ「九月」ヲ「十一月」ニ「十月」ヲ「十二月」ニ「三月」ヲ「五月」ニ改ム

第十二條中「三月」ヲ「四月」ニ改ム

第二十六條中但書ヲ削除シ左ノ一項ヲ加フ

遞信部內ヨリ選出セラレタル練習生ニハ前項金額ノ外之カ五割以內增給スルコトアルヘシ

朝鮮總督府告示第四十五號

明治四十五年二月二十一日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

明治四十五年二月二十三日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

名稱	地區
長城學校組合	全羅南道長城郡長城邑內ヲ中心トシテ五十町以內ノ地

正誤

昨四十四年十二月六日鐵道院告示第百五號中濶𡽶村字十弗八號項村字十弗ノ誤　鐵道院參事

昨二十七日農商務省告示第四十四號森林測候所練習生採用規程中第一號書式（用紙美濃紙）ノ次ニ練習生採用願ノ一行ヲ脫ス（誤植）

○敍任及辭令

○明治四十五年二月二十七日

敍從七位	正八位	高橋 靖基
任陸軍中將	陸軍少將從四位勳二等功三級	石橋 健藏
任陸軍中將	陸軍少將從四位勳二等功三級	岡 市之助
任陸軍中將	陸軍少將從四位勳二等功三級	藤木 太郎
任陸軍中將	陸軍少將從四位勳二等功三級	內藤 新一郎
任陸軍中將	陸軍少將從四位勳二等功三級	仁田原 重行
任陸軍砲兵大佐	陸軍砲兵中佐從五位勳三等功四級	清水 駒次郎
任陸軍砲兵大佐	陸軍砲兵中佐從五位勳三等功四級	石井 忠利
任陸軍砲兵大佐	陸軍砲兵中佐正六位勳四等功四級	坂西 利八郎
任陸軍步兵少佐	陸軍步兵大尉正六位勳四等功五級	玉川 喜重郎
任林務技師	林務技手	沼澤 陸太
敍高等官八等		
任神奈川縣技師	正七位	明石 東
敍高等官六等		

岐阜縣加茂郡立加茂農林學校長兼岐阜縣加茂郡立加茂農林學校敎諭ニ任ス　春照村外二箇村學校組合立山東農林學校長兼春照村外二箇村學校組合立山東農林學校敎諭　遠藤 新八

○明治四十五年二月二十七日

補第二師團長　陸軍中將從四位勳二等功三級　仁田原 重行

免本職補憲兵司令官　下關要塞司令官陸軍中將　南部 辰丙

補下關要塞司令官　陸軍中將　內藤 新一郎

陸軍中將　須永 武義

陸軍中將　石橋 健藏

陸軍中將　藤本 太郎

（各通）

豫備被仰付

依願株式會社臺灣銀行副頭取被免　正七位勳六等　下坂 藤太郎

帝國學士院規程第二條ニ依リ勅旨ヲ以テ帝國學士院會員被仰付　正五位勳四等文學博士　高楠 順次郎

免本官（以上二月二十七日内閣）　朝鮮總督府郡守　尹 命 般

參謀本部參謀演習旅行實視トシテ同演習地ヘ被差遣　東宮武官　西 義一

（各通）

本月十一日學習院女學部階上物置室ヨリ發火シ遂ニ本館全部ヲ燒失スルニ至ラシメタルハ平素注意ノ周到ヲ缺キ其ノ職務ヲ怠リタルモノトス仍テ宮內官懲戒令ニ依リ譴責ス（以上二月二十七日宮內省）

學習院女學部長　松本 源太郎

學習院主事　小林 晋吉

兵庫縣ヘ出張ヲ命ス　外務書記官　田中 都吉

赴任ノ途次愛知縣京都府大阪府兵庫縣及福岡縣ヘ出張ヲ命ス（以上二月二十七日外務省）　總領事　奧田 竹松

免本職補富山聯隊區副官　步兵第七聯隊附陸軍步兵大尉　奧泉 欽次郎

免本職補步兵第七聯隊附　步兵第七聯隊中隊長陸軍步兵大尉　板坂 省吾

岐阜聯隊區司令部附勤務ヲ免ス　步兵第六十八聯隊附陸軍步兵中尉　粟屋 吉熊

岐阜聯隊區司令部附勤務ヲ命ス　步兵第六十八聯隊附陸軍步兵中尉　小西 鍬三郎

後備被仰付（以上二月二十七日陸軍省）　陸軍步兵少佐　玉川 喜重郎

補岡山區裁判所檢事兼岡山地方裁判所檢事　岡山地方裁判所檢事　澤崎 鐵二

補宮城控訴院判事　秋田地方裁判所判事判事　櫻田 壽

第 8605 号 本文

補秋田地方裁判所判事　仙臺地方裁判所判事　白井淸左衞門
豫審掛ヲ命ス　秋田地方裁判所判事判事　白井淸左衞門
補仙臺地方裁判所判事　福島地方裁判所判事判事　岡田德三郎
補今市區裁判所檢事　岡山區裁判所檢事兼岡山地方裁判所檢事檢事　中島九八郎
補福島地方裁判所判事　中村區裁判所判事兼平區裁判所判事判事　增山外三郎
豫審掛ヲ命ス　福島地方裁判所判事判事　增山外三郎
補東京區裁判所檢事兼東京地方裁判所檢事　退職檢事　原　夫次郎
補中村區裁判所判事兼平區裁判所判事　古川區裁判所判事判事　郡山大太郎
補若松區裁判所判事　福島地方裁判所判事兼米澤區裁判所判事判事　千葉千代吉
補岡山地方裁判所檢事兼岡山區裁判所檢事　福島區裁判所檢事兼若松區裁判所檢事檢事　今村　正美
補福島地方裁判所判事兼福島區裁判所判事　白河區裁判所判事判事　長嶺八十一
補小倉區裁判所判事　豫備判事（小倉區）　堤　牧太
補白河區裁判所判事　豫備判事（平區）　海老原　一
補古川區裁判所判事　豫備判事（飯田區）　山田　鐵夫
飯田區裁判所詰ヲ命ス　豫備判事（德島地方）　石井政之助
平區裁判所詰ヲ命ス　豫備判事（仙臺地方）　前田　幹雄
（各通）　岡山區裁判所檢事檢事　澤崎　鐵二
宮城控訴院判事判事　櫻田　壽
七級俸下賜　秋田地方裁判所判事判事　白井淸左衞門
（各通）　今市區裁判所檢事檢事　中島九八郎
東京區裁判所檢事檢事　原　夫次郎
八級俸下賜　福島地方裁判所判事判事　增山外三郎
（各通）　中村區裁判所判事判事　郡山大太郎
若松區裁判所判事判事　千葉千代吉
九級俸下賜　岡山地方裁判所檢事檢事　今村　正美
福島地方裁判所判事判事　長嶺八十一
（各通）　小倉區裁判所判事判事　堤　牧太
白河區裁判所判事判事　海老原　一
十級俸下賜　古川區裁判所判事判事　山田　鐵夫

大津地方裁判所及同檢事局竝大津區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ
司法官試補（安濃津地方）　清水稼太郎
大阪地方裁判所及同檢事局竝大阪區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ（以上二月二十六日司法省）
司法官試補（東京地方）　鈴木　八郎
應用化學研究ノ爲滿二箇年半間獨國英國及米國ヘ留學ヲ命ス
九州帝國大學工科大學助教授　安藤　一雄
養蠶學研究ノ爲滿二箇年間伊國佛國及獨國ヘ留學ヲ命ス
上田蠶絲專門學校敎授　勝木　喜董
衞生學及細菌學研究ノ爲滿二箇年間獨國ヘ留學ヲ命ス
仙臺醫學專門學校敎授　柿澤　信義
土木工學研究ノ爲滿二箇年半間獨國及米國ヘ留學ヲ命ス
熊本高等工業學校敎授　遠藤　金市
應用化學研究ノ爲滿二箇年半間獨國英國及米國ヘ留學ヲ命ス（以上二月二十七日文部省）
米澤高等工業學校敎授　西山　榮
東京大阪愛知廣島ノ二府二縣ヘ出張ヲ命ス（二月二十一日朝鮮總督府）
朝鮮總督府勸業模範場技師農學博士　豐永　眞里
本俸下賜（二月二十三日愛知縣）
愛知縣立高等女學校敎諭　野田與三治郎

正誤

昨二十七日本欄五一四頁下段故從四位、、眞田幸貫ハ故從四位下ノ誤　宮内書記官
（「故從四位、、」ハ「故從四位下」ノ誤、原文傍點「〇〇〇」）

〇彙報

〇官廳事項

〇華族ノ禮遇ヲ享ケサル者　本月十六日子爵高野宗順ハ華族令第七條第四號ニ依リ華族ノ禮遇ヲ享ケサル者ト爲レリ

〇官吏發著　泰宮鎌倉御成ニ付キ隨行仰付ケラレタル侍醫三浦省軒ハ昨二十七日出發⊕發ニ同上ノタメ同地ヘ出張ノ侍醫補吉田弘ハ同日歸京セリ
發ニ福岡、鹿兒島、兵庫三縣下ヘ出張ノ大藏省臨時建築部技師矢橋賢吉ハ本月二十四日歸京セリ
發ニ帶廣、釧路地方ヘ出張ノ高橋步兵第十四旅團長、長崎、佐世保兩市及壹岐、北松浦、西彼杵各郡地方ヘ出張ノ堀内步兵第二十三旅團長ハ本月二十二日孰モ歸著、發ニ前原ヘ出張ノ粟田步兵第三十五旅團長ハ同二十一日歸著更ニ地方講話ノタメ福岡縣早良郡西新町ニ向ヒ同二十二日出發　即日長野縣上田池田町大町地方ヘ出張ノ森川步兵第二十六旅團長ハ同二十四日孰モ歸著⊕内山第十五師團長ハ幹部演習ノタメ愛知縣岡崎地方ニ向ヒ同二十二日、依田步兵第三十六旅團長ハ講話實施ノタメ鹿兒島縣大島郡名瀨ニ向ヒ同二十三日、仁田原步兵第一旅團長ハ徵兵事務視察ノタメ神奈川縣地方ニ向ヒ　秋山騎兵監ハ騎兵第二十一、第十聯隊教育實視ノタメ岡山姬路地方ニ向ヒ同二十四日、楠瀨陸軍技術審查部長ハ信管試驗ノタメ愛知縣伊良湖射場ニ向ヒ同二十五日、野口陸軍士官學校長ハ野營演習ノタメ千葉縣下習志野原ニ向ヒ一昨二十六日孰モ出發⊕發ニ千葉縣下ヘ出張ノ木越第一師團長、日疋同師團經理部長及松本同師團軍醫部長ハ本月二十四日孰モ歸京セリ
富山地方裁判所檢事正ニ轉補セラレタル檢事長谷川定ハ本月二十一日著任⊕秋田監獄典獄江澤精造ハ同日上京⊕大阪控訴院及安濃津、福岡兩監獄ヘ出張ヲ命セラレタル山下司法技師ハ同二十五日出發セリ
發ニ佛領東京及淸國ヘ出張ノ伊東東京帝國大學工科大學敎授ハ本月二十二日歸朝セリ
發ニ歐米各國ヘ出張ノ農商務省書記官鶴見左吉雄ハ本月二十三日歸朝セリ
福井縣事務官池松時和ハ本月二十五日上京⊕發ニ上京ノ安藤長崎縣知事ハ昨二十七日出發歸任セリ

〇官吏死去　休職陸軍步兵少尉正八位小菅健次郎ハ本月一日死去セリ

司法・警察及監獄

〇減刑　福岡縣宗像郡赤間町三郎九平民山本季吉ハ故殺ノ罪ニ因リ明治四十年二月十六日福岡地方裁判所ニ於テ重懲役九年ニ處セラレ服役中同四十三年十一月二十九日假出獄許可ノ處本月二十一日特典ヲ以テ懲役六年ニ減刑セラレタリ

〇辯護士名簿登錄　東京府平民寺崎熊雄ハ本月二十二日神戸地方裁判所檢事局ニ於テ、岡山縣平民有岡幹三郎ハ同二十三日前橋地方裁判所檢事局ニ於テ、青森縣平民木原金助ハ同二十四日東京地方裁判所檢事局ニ於テ孰モ請求ニ依リ辯護士名簿ニ登錄セリ

〇辯護士名簿登錄換　東京地方裁判所所屬辯護士岡崎伊勢藏ノ請求ニ依リ本月二十一日靜岡地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄換ヲ爲セリ

〇辯護士名簿登錄取消　仙臺地方裁判所所屬辯護士滿江淸基ハ死去ニ因リ本月二十日所屬裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登錄ヲ取消セリ

〇出火　一昨二十六日午後八時十分東京府東京市本所區小泉町二十七番地ヨリ出火住屋全燒一戸、半燒五戸同時三十五分鎭火、昨二十七日午前零時三十分同市芝區白金三光町百五十九番地ヨリ出火住屋全燒三戸同一時五分鎭火セリ

〇受刑者罪名別　昨四十四年十二月末日現在受刑者罪名別左ノ如シ（△印ハ減）

罪名	男	女	計	前月末日現在	前年同月末日現在	增減 前月比較	增減 前年比較	本月中ノ新受刑者	增減前月比較
刑法									
竊盜	二七、四〇三	一、二七九	二八、六八二	二八、六三一	二八、六四四	五一	三八	一、九一三	一九〇
強盜	三、二八六	一一	三、二九七	三、三七二	三、五六八	△七五	△二七一	七八	四五
賭博及富籤	四、〇四三	一三八	四、一八一	四、〇七四	四、九五八	一〇七	△七七七	八二五	二〇六
詐欺及恐喝	七、三三二	二六一	七、五九三	七、七一四	七、五一四	△一二一	七九	六一八	三九
橫領	二、九五六	七六	三、〇三二	三、一九六	三、一八七	△一六四	△一五五	三三六	三四
贓物ニ關ス	六九〇	七二	七六二	八一〇	九二八	△四八	△一六六	六六	△八
毀棄及隱匿	八九	―	八九	九六	一二四	△七	△三五	五	△三
通貨僞造	三九五	九	四〇四	四七六	五七〇	△七二	△一六六	六	―
文書、有價證券僞造	一、八〇一	六〇	一、八六一	二、〇三〇	二、一九九	△一六九	△三三八	一五三	一二
印章僞造	二五六	一	二五七	二九六	四四四	△三九	△一八七	二	△二三
僞證及誣告	一五四	四	一五八	一五〇	一六九	八	△一一	三三	△五
瀆職	九〇	―	九〇	九三	九三	△三	△三	七	△一
猥褻姦淫及重婚	三八九	三〇	四一九	四五一	四六六	△三二	△四七	二七	六
傷害	一、九七三	三三	二、〇〇六	二、一八九	二、五四一	△一八三	△五三五	一四八	△三三
殺人	二、五九四	二〇四	二、七九八	二、九八八	三、二〇二	△一九〇	△四〇四	八〇	二二
嬰兒殺	五八	一六八	二二六	二九九	三六六	△七三	△一四〇	七	△四
逮捕及監禁	二五	八	三三	三二	三〇	一	三	二	△一
墮胎	三四	九八	一三二	一四〇	一五九	△八	△二七	二三	二
公務執行妨害	一一六	一	一一七	一二二	一三七	△五	△二〇	一七	△一
逃走、犯人藏匿及證憑湮滅	四六	一	四七	四八	四九	△一	△二	三	△二
騷擾	一一〇	七	一一七	一〇四	九三	一三	二四	一〇	四
放火	一、六五六	三二八	一、九八四	二、一六七	二、三五一	△一八三	△三六七	四三	一七
住居ヲ侵ス	一九八	三	二〇一	二〇二	一七八	△一	二三	一九	二
略取及誘拐	一四一	一六	一五七	一六六	一五九	△九	△二	一〇	△一
諸規則									
陸海軍刑法	七〇	―	七〇	七六	八二	△六	△一二	一二	三
森林法	四〇三	一	四〇四	四〇〇	四八七	四	△八三	一〇七	一二
徵兵令	六九	―	六九	六六	四七	三	二二	九	―
郵便及電信法	六二	一	六三	七一	六八	△八	△五	五	一
警察犯處罰令	七三五	二四五	九八〇	一、〇四六	八五六	△六六	一二四	三、六四四	一一四
以上列記以外ノ刑法犯及諸規則違犯罪	三六一	三七	三九八	四七七	四〇八	△七九	△一〇	五八三	△三一
總計	五七、五三五	三、〇九二	六〇、六二七	六一、九八一	六四、〇七七	△一、三五四	△三、四五〇	八、七九一	六〇六

褒賞

〇金銀木杯下賜　金穀物件等寄附ノ廉ヲ以テ賞勳局ニ於テ金銀木杯ヲ下賜セシ者左ノ如シ

養育院院賞增殖會
本年三月東京市養育院基金トシテ金二万五千圓寄附候段奇特ニ付爲其賞金杯一組下賜候事

正三位勳一等功一級子爵　寺内　正毅
本年三月東京市養育院基金トシテ金百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事（以上四十四年二月十三日）

王子製紙株式會社
自明治四十年四月至四十二年四月東京府北豐島郡王子尋常高等小學校敎育費金六百十二圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（以上四十三年十二月二十三日）

正五位　三井　三郎助
明治四十二年十一月東京市小石川高等小學校備品費金二百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事

正三位勳四等侯爵　細川　護成
明治四十二年十月東京市小石川高等小學校備品費金百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事（以上四十四年一月十六日）

東京府小笠原島父島袋澤村　田代　惣十郎
明治四十三年十一月東京府立感化院敷地トシテ畑一町二段五畝二十一歩寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一組下賜候事（四十四年二月九日）

正五位勳三等功三級　藏田　虎助
本年二月東京府豐多摩郡代々幡村尋常高等小學校敎育費金百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事（四十四年二月二十一日）

東京市日本橋區坂本町　神田　鐳藏
明治四十三年四月東京市養育院基金トシテ金五百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事

從一位勳一等侯爵　淺野　長勳
明治四十三年四月東京市養育院基金トシテ金百五十七圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事

從四位勳三等功二級　井口　省吾
明治四十三年四月東京市養育院基金トシテ金百五十圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事

從三位勳三等　增田　禮作
明治四十三年四月東京市養育院基金トシテ金百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞木杯一組下賜候事（以上四十四年二月二十二日）

從二位勳一等子爵　花房　義質
明治四十三年四月東京府荏原郡大崎町里道新設費トシテ金百八十圓同敷地トシテ土地一段二畝二十歩寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一組下賜候事（四十四年三月七日）

東京市京橋區木挽町二丁目　山科　禮藏
明治四十三年七月商船學校學生實習參考用トシテ小蒸汽艇一艘寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一組下賜候事（四十四年三月十日）

東京市日本橋區本材木町一丁目　渡邊治右衞門
明治四十三年五月東京市養育院基金トシテ金一千圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事

從四位公爵　岩倉　具張
明治四十三年五月東京市養育院基金トシテ金五百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（以上四十四年三月二十日）

從六位　小原　勝五郎
明治二十二年八月東京府南葛飾郡小岩田村及伊豫田村國道變更ノ際敷地買上及地上物件移轉料補償費トシテ金九百一圓餘寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十四年三月二十三日）

勳七等功七級　安齊　三三
本年五月埼玉縣入間郡川越町立小學校基本財産トシテ金一千圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年十二月二十四日）

埼玉縣南埼玉郡久喜町　榎本　善兵衞
本年八月埼玉縣南埼玉郡久喜尋常小學校敷地トシテ畑五段九畝二十二歩寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年十一月三十日）

埼玉縣秩父郡小鹿野町　小鹿野上二丁目
明治四十二年六月埼玉縣秩父郡小鹿野町外一箇村組合道路開鑿費金一千圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年十二月十九日）

群馬縣佐波郡宮郷村　中澤　芳郎
故中澤德次郎本年七月群馬縣佐波郡宮郷尋常高等小學校基本財産トシテ四分利公債證書額面金一千圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年八月二十七日）

第8605号 本文

第8605号 本文

前橋市

本年六月前橋市ヨリ多野郡新町ニ至ル縣道利根川架橋費金九百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年九月七日）

群馬縣碓氷郡八幡村 沼賀 誠三郎

本年二月群馬縣碓氷郡八幡尋常高等小學校敷地トシテ田一段三畝二十七歩寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年十二月二十八日）

群馬縣群馬郡澁川町 石坂 庫

明治四十一年十二月群馬縣群馬郡澁川町公園用トシテ土地一段六畝二十二歩建物一棟及井一箇所鉄碑五基樹木四百本寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年十二月二十九日）

群馬縣新田郡生品村 丸山 愼八郎

明治四十三年八月群馬縣新田郡生品尋常高等小學校基本財産トシテ金七百圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十四年二月八日）

群馬縣群馬郡桃井村 大字長岡村

明治四十三年十二月群馬縣群馬郡桃井尋常高等小學校教育費蓄積金トシテ金五百六十四圓寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十四年二月二十一日）

千葉縣立千葉中學校校友會

本年十月千葉縣立千葉中學校備品トシテ端艇三艘寄附候段奇特ニ付爲其賞銀杯一箇下賜候事（四十三年十一月十日）

○陸海軍

○不要徴兵終決處分者 徳島縣ニ於ケル所在不明ノ徴兵終決處分未濟者中徴兵處分濟、死亡、滿四十歳超過、所在發見、徴兵令第八條該當者等ニシテ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ（徳島縣）

本籍地	氏名	生年月日（明治）
徳島市大字下助任町六八三	白井 鐵太郎	三二、三、一〇
同市大字富田浦町一二九八	福田 貞七	二四、七、四
同市大字西橫町字東側六	環 喜三郎	三、一、七
同市大字住吉島町	島田 茂	五、一、一八
名東郡八万村大字下八万村字川南五六	杉本 眞喜次	二四、三、三
同郡齋津村大字同村六三	河西 重太郎	三、三、五
同郡齋津村大字津田浦村五七四	大和 平藏	四、二、二八
同郡國府町大字中村一三六	高木 儀七	三、五、一
同郡南井上村大字池尻村三二	菅沼 庄七	一九、三、二四
勝浦郡小松島町大字小松島町一〇九七	佐野 島藏	四、三、三一
那賀郡富岡町大字西路見村一八	樫原 藤三郎	四、三、一五
同郡橘浦村五三三	石原 守次郎	五、一、六
名西郡石井町大字石井町四四二	三河 彌藏	三、一、九
板野郡撫養町大字黒崎村三一五	山中 龜太郎	一五、一一、一〇
同郡同町大字南濱村一三	天羽 頼二	五、一、三
同郡大山村大字椎木村五二	那須 磯吉	二四、五、二
同郡同村大字神宅村一〇一	高橋 長市	一六、五、一五
同郡同村大字同村二四三	三木 平十郎	一八、六、一
同郡松茂村大字中喜來村三五	大西 眞三郎	三、五、二
阿波郡林村大字西林村二六	吉田 房藏	二四、二、八
美馬郡郡里村大字郡里山村	先川 佐平	五、一、五
同郡同村大字郡里村二一	眞鍋 國吉	三、三、五
同郡岩倉村大字岩倉村九八	西山 榮次郎	二四、七、五
同郡同村大字同村一三	岡山 清藏	二四、一〇、七
同郡重清村二六〇	北岡 高市	二四、一〇、八
同郡東祖谷山村九二三	森脇 友藏	二四、三、一〇
三好郡三繩村大字中西村二一五	土屋 龜吉	五、三、五
同郡箸藏村大字西山村一五四	上久保 虎一	三、一、一五
同郡同村大字同村一七一	古野 方弘	三、四、一五
同郡辻町大字西井川村二三〇	吉田 金四郎	三、六、一八
同郡足代村三一九	林 米一	二四、一〇、一〇

○軍艦發著 各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
河內	二、二六		橫須賀	
安藝、三笠、香取				
敷島、伊吹、筑波	同		中城灣	古仁屋
笠置	同	秦皇島		
利根	二、二六		佐世保	八代灣
阿蘇、宗谷	同		新嘉坡	馬尼剌
高千穗	同	清水		
鹿島、對馬	二、二七		小樽	敦賀
嚴島	同		宇野	吳

○學事

○實業敎育費補助 實業敎育費國庫補助法ニ依リ大分縣縣立別府工業徒弟學校ニ明治四十五年一月マテ交付ノ補助金更ニ同年二月ヨリ向フ五箇年間一箇年金千三百圓ヲ繼續交付スル旨昨二十七日文部省ヨリ指令セリ（文部省）

○財政

○外國貿易月表抄 大藏省ノ調査ニ係ル去月中ノ輸出入貨物及輸出入金銀國別額左ノ如シ（去月二十六日及本月十九日本欄內參看）（大藏省）

貨物輸出入國別

國別	輸出 四十五年	輸出 四十四年	輸出 四十三年	輸入 四十五年	輸入 四十四年	輸入 四十三年
亞細亞洲	圓	圓	圓	圓	圓	圓
清國	三、七一九、六六七	四、三九七、七二六	四、〇一〇、〇三三	三、四〇八、一七五	八、八七一、八〇六	四、一三三、六〇九
關東州	一、八七九、〇二六	一、二五七、三〇八	一、三七九、一一三	二、九七九、三八八	三、四八〇、一九七	九〇四、八二三
韓國	—	—	一、八九三、九三一	—	—	一、八九九、八九八
香港	三、〇七六、九八五	一、五五二、九八八	一、五三一、八八二	五一、九五九	八〇、一一四	七五、一三三
英領印度	一、六一八、四七五	一、三四五、〇〇〇	一、三八三、三五七	八、五五八、二二一	一〇、五一二、六六六	一三、九六九、三〇八
同海峽殖民地	五六七、七一三	四六八、三四〇	三五五、九五〇	三五五、六八三	五〇三、六五一	三七五、六七八
蘭領印度	三四五、九〇二	二九八、六五一	一六六、八二〇	七九一、八四九	一、五三一、〇八四	一、五六五、七六九
佛領印度	五四、六一〇	一五、一二四	一八、三四五	二七七、五三四	一七〇、〇八一	一七一、一三九
露領亞細亞	一五五、二九〇	一六八、四〇〇	八二、六二二	二三一、一五七	一四、〇二七	九八、三七二
フィリピン諸島	四七四、〇六五	三三一、六五三	四八二、三四六	一三五、七四二	二五、四四四	三四、三八五
暹羅	三四、七九九	二七、三〇四	八〇、二九六	一四二、四〇三	九九、四〇八	七一、一八二
計	一〇、九二六、五〇二	一〇、八六二、五九四	一二、三九四、七七五	一六、七二四、三一一	二四、二八四、四六八	二三、三三八、一九五
歐羅巴洲						
英吉利	一、七七二、八〇一	一、四三九、八七六	二、六九二、九二五	八、〇〇五、〇五四	六、四四三、〇〇四	六、〇三六、二〇一
佛蘭西	三、四〇七、七三五	三、一七六、〇五五	二、八三三、七一九	三一九、九二八	三五六、二六四	四〇八、二九六
獨逸	一、一〇三、三三六	一、〇二二、七八三	六六七、六四七	三、六五七、七八六	二、八二〇、三三二	二、七六一、九八八
白耳義	一一七、九〇六	一七一、五三八	二八二、五三六	六二〇、四〇〇	七二五、五〇六	五九一、七七七
伊太利	八六二、九一四	一、五〇八、五五五	九三二、五九三	四一、五一五	三八、三一六	二一四、八〇
瑞西	二九、五八七	三六二、八九五	七二、九七三	九四、八八九	一一〇、七八四	一一一、四八三
澳地利匈牙利	八一、一二五	一三三、五〇九	一八六、七四一	一四六、七六四	一八三、六八五	一八八、八〇七
和蘭	二五、五八九	二〇、八三九	二二〇、八三六	六九、〇四一	四四、九二三	四二、一九七
瑞典	五、七七〇	二三四	—	二八八、八九四	四八五、五二九	二〇七、七二七
諾威	六〇	一、〇一八	五三九	七三、二二八	三三、六七一	五七、三八六
露西亞	一三五、五五二	二七、七二二	六〇、二一一	二、八九七	一九、五二二	一三、一五一
西班牙	三四、三一八	一一、五四八	三一、七八七	二四、四五三	二九、五三五	二八、五九四
丁抹	九、八八八	一一、七六六	一、二一〇	一七、〇二八	四、六八〇	一八、〇三三
土耳其	九、七九九	七、五三七	三、四二二	一、六〇〇	四	一〇八
葡萄牙	二、〇七七	二五三	二六三	一、五八〇	三一一	一、五二七
計	七、五九八、四一七	七、九八三、五四七	七、八七七、三九二	一三、三六五、〇四七	一一、二九四、八八四	一〇、四八六、七五五
亞米利加洲						
北米合衆國	一一、四五一、七八六	一〇、九五九、八三〇	一〇、七〇五、五〇四	一三、五〇九、六四二	七、〇一一、六五九	三、一三九、〇四三
英領亞米利加	二〇〇、五一三	一四六、二八八	二一七、八一一	一八六、〇七三	二三、三五三	一一八、七一〇
墨西其	一四、八三三	二二、四〇四	一、三〇八	—	七	—
秘露	九五四	一六、五四三	一九、九七六	—	一〇五、六〇〇	一三〇、〇六八
智利	一九〇	一六、三六一	一、八五一	二〇一、六八七	三三三、三〇五	八八、八八九
亞爾然丁	八九、四七八	—	—	—	—	—
計	一一、七五七、七五三	一一、一六一、四二六	一〇、九四六、四五〇	一三、八九七、四〇一	七、六七三、九六四	三、五七六、七〇九
其他諸洲						
濠太利	五三一、一〇四	五一一、七一二	三二八、三四三	一、四八〇、三八五	八六九、一四三	八六四、五〇三
布哇	三四〇、六三〇	三一一、九〇二	二八二、九四七	一、〇一二	一、六八〇	四三
埃及	八二、五〇〇	四〇、五一九	二五、〇四四	三四七、七三〇	八六九、九〇八	六八三、〇四七
英領亞弗利加（喜望峯殖民地及ナタル）	一〇、四一八	—	—	—	—	—
計	九六四、六五二	七六四、一三三	六三六、三三四	一、八二九、一二七	一、七四〇、七三一	一、五四七、五九三
其他諸國	八一、六三五	一一九、六〇八	一一四、三〇七	三六〇、四〇五	四九一、二六五	五六八、九九七
不詳	一四五、八六六	一四七、六七二	八七、〇四六	一四、九九三	一九、四一六	五一、六三五
合計	三一、四七四、八九五	三一、〇三八、九八〇	三二、〇五六、三〇四	四六、一九一、二八四	四五、九〇四、七二八	三九、四五九、八八四

金銀輸出入國別

國別	輸出 四十五年	輸出 四十四年	輸出 四十三年	輸入 四十五年	輸入 四十四年	輸入 四十三年
清國	一、六三〇、三三三	一、四六一、一五七	三六〇、〇〇〇	四九〇、六三四	—	—
關東州	—	—	—	八、三九九	一〇〇、〇〇〇	—
韓國	—	—	一、四四三	—	—	一、一九四、四七〇
香港	三三五、〇〇〇	一、二五〇、二〇〇	一、八四〇、七一〇	—	—	—
英領海峽殖民地	—	五一〇	—	二、七五一	—	四、二四五
北米合衆國	六、三一九	四、二五〇、〇〇〇	—	—	—	四、七九六、〇〇六
計	一、六六一、五四二	六、九六一、八六七	三、二〇三、一三三	四六一、七八四	一〇〇、〇〇〇	五、九九四、七二一

○朝鮮貿易概況 本月上半月中朝鮮貿易概況左ノ如シ △印ハ減（朝鮮總督府）

輸出及移出品、輸入及移入品價額

區別	本年 本月上半月分	前年同期	本年 一月以降累計	前年同期	增減
	圓	圓	圓	圓	圓
輸出及移出品價	六二一、五三七	一、四六九、九七六	二、一四一、六四九	三、二六六、二八三	△一、一二四、六三四
輸入及移入品價	二、一一二、四二七	一、七六六、二九八	六、三四八、〇四七	四、七六〇、八八六	一、五八七、一六一
合計	二、七三三、九六四	三、二三六、二七四	八、四八九、六九六	八、〇二七、一六九	四六二、五二七
輸移入超過額	—	—	四、二〇六、三九八	一、四九四、六〇三	—

輸出及移出品、輸入及移入品價額港別

港名	本月上半月分 輸出及移出	本月上半月分 輸入及移入	一月以降累計 輸出及移出	一月以降累計 輸入及移入	一月以降累計 計
	圓	圓	圓	圓	圓
仁川	八七、二〇七	六八二、九六一	三七〇、五九四	一、六七三、二四四	二、〇四三、八三八
釜山	一九七、四九三	五〇七、七五八	九一七、三〇一	一、七〇五、〇六七	二、六二二、三六八
元山	四四、五七八	一九二、五四〇	一五一、四六五	四三六、二八一	五八七、七四六
鎭南浦	二、三九一	二、三八八	九、五五八	一八、七三七	二八、二九五
京城	六、八二八	二九七、五六一	二一、五八四	一、〇九六、七七一	一、一一八、三五五
群山	一〇三、八二七	六九、一〇〇	二二三、七八〇	二九五、一二七	五一七、九〇七
木浦	四一、三六一	六九、六一四	一四九、五三九	二二二、四三五	三六七、九七四
大邱	二、七一六	四一、六三〇	四、九二七	一五四、五二五	一五九、四五二
馬山及行廊	二、〇八〇	四二、八九一	一六、六三七	一四四、二二〇	一六〇、八五七
清津	三、五二七	六一、一一〇	八、六〇三	一四六、六八六	一五五、二八九
城津	九九、四七〇	二七、七四九	一五三、二二一	九三、四五三	二四六、六七四
新義州及龍岩浦	三六、八六六	二一、五八九	二一、二六八	九四、三五〇	二〇五、六一二

輸出及移出重要品價額

品名	本年 本月上半月分	前年同期	本年 一月以降累計	前年同期	增減
	圓	圓	圓	圓	圓
米	一九四、〇四九	二五六、六六三	四二五、七五三	九四六、三四四	△五二〇、五九一
大麥及小麥	五四三	五六七	五七二	四、一四一	△三、五六九
豆類	二三二、二二二	二六、六四六	八三一、五二三	八二八、一二〇	三、三〇三
鮮魚	一四、一一〇	九、五九九	二九、二九七	二九、二〇九	八八
乾魚及鹹魚	五一九	五六七	一〇、四六四	二、〇八六	八、三七八
鐵鑛	—	—	—	—	—
黑鉛	九六	一、四八一	一、五八九	二、二九一	△七〇二
牛皮	四六、四四七	一六、六四二	一四五、八四九	一〇八、七八九	三七、〇六〇
生牛	三、九四〇	三、〇八三	二五、三三二	七三、五四二	△四八、二一〇

輸入及移入重要品價額

品名	本年 本月上半月分	前年同期	本年 一月以降累計	前年同期	增減
小麥粉	二〇、五八五	一三、〇六四	七九、六一六	四二、九四一	三六、六七五
食鹽	一八、九三八	一、九六九	三五、八二四	四、九二一	三〇、九〇三
砂糖及精糖	二七、六八九	三〇、二六八	九七、二〇八	九三、〇六二	四、一四六
清酒	二二、八三一	一九、七六〇	七五、五二三	五五、一九五	二〇、三二八
麥酒及黑麥酒	一六	一、〇四五	二、〇六七	一、二七一	七九六
石油	一九六、〇三一	一三、一四五	二四三、六六八	三三、二〇五	二一〇、四六三
繰綿及打綿	二〇、五五四	八、三〇八	七三、六一九	四九、七〇四	二三、九一五
綿織絲	九八、八一五	五八、三二四	三一八、九九九	二七二、三五五	四六、六四四
生金巾及生「シーチング」	二七六、〇四九	二二一、三八三	九五七、四五三	七九四、二六七	一六三、一八六
晒金巾及晒「シーチング」	九四、二三七	八一、九八七	二四八、六二九	二二〇、三一四	二八、三一五
綿繻子及綿「イタリアンス」	一七、五六八	二〇、一九二	五四、〇五八	六一、一六四	△七、一〇六
日本木綿	七九、〇四六	六九、三八六	二五九、六六七	二三五、〇三六	二四、六三一
麻布	一六、〇九一	七九七	一八、〇〇四	二、四六九	一五、五三五
絹布	六七、二三八	二八、四三七	一二六、九六六	九一、九七三	三〇、六一五
紙	三三、二九九	三一、三二五	一三二、五八八	八八、五五四	二八、四一二
熟鐵	三二、〇〇六	一〇、五四八	六七、〇八八	四三、七八一	二三、三〇七
軌條及同附屬品	四一、〇八九	—	二五七、四三三	二、四六八	二五四、九六五
鐵（筒及管）	一五、一二四	二、〇八九	四九、〇一三	一一、九五五	三七、〇五八
鐵道機關車及同部分品	—	—	—	—	—
煙草	七二、九六三	二七、七四六	一三四、三四二	一一九、五四八	一四、七九四
石炭	一八、三九四	七二、四三〇	六九、七〇七	一七一、二二二	△一〇一、五一五
木材及板	三九、九〇六	九、四八七	九四、三三三	一三七、四二一	△四三、〇九八
叺	一九、三三六	一五、〇〇八	八一、八一五	六二、六九八	一九、一一八
「セメント」及石灰	一八、〇四六	二三、二八八	五五、五三三	五三、三二一	二、二〇一
「マッチ」	一六、〇五二	五、七六四	四二、〇九一	三八、六一二	三、四七九

入港船舶

種別	本月上半月分 隻數	本月上半月分 噸數	一月以降累計 隻數	一月以降累計 噸數
汽船	一四八	一二三、七一二	五三八	四五三、八一四

帆船	四二	一、八八四	一二九	五、〇五六
「ジャンク」	五三	七三九	一五五	二、二三六
合計	二四三	一二六、三三四	八二二	四六一、一〇六

金銀出入

種別	本月上半月分 輸出及移出	本月上半月分 輸入及移入	一月以降累計 輸出及移出	一月以降累計 輸入及移入
金貨及金地金	圓 二〇四、七〇八	圓 —	圓 九〇三、五〇四	圓 —
銀貨及銀地金	三七、〇〇〇	三、七三九	一二三、一四四	一〇、九三八
合計	二四一、七〇八	三、七三九	一、〇二六、六四八	一〇、九三八

○醬油查定石高　大藏省ノ調査ニ係ル昨四十四年中醬油查定石高累計左ノ如シ（大藏省）

監督局名	道府縣名	諸味	溜 生引溜	溜 粟引溜	溜 「ニーラ」溜	溜 計	合計
東京	東京	石 五五、九三六	石 —	石 —	石 一〇	石 —	石 五五、九三六
	神奈川	四八、七三五	—	—	一〇	一〇	四八、七四五
	埼玉	三七、二九二	四	—	一二	一六	三七、三〇八
	千葉	三四一、〇六八	—	—	—	—	三四一、〇六八
	山梨	一〇、〇八三	—	—	—	—	一〇、〇八三
	計	四九三、一一四	四	—	二二	二六	四九三、一四〇
京都	京都	三一、六九〇	一	四九	一	五一	三一、七四一
	滋賀	三二、三六三	—	—	—	—	三二、三六三
	福井	一四、八五三	一	—	—	一	一四、八五四
	石川	三九、二八〇	—	—	—	—	三九、二八〇
	富山	一九、六八八	三五	—	—	三五	一九、七二三
	計	一三七、八七四	三七	四九	一	八七	一三七、九六一
大阪	大阪	四〇、二五六	—	—	—	—	四〇、二五六
	兵庫	一六二、四九一	—	—	—	—	一六二、四九一
	奈良	一九、九二〇	—	—	—	—	一九、九二〇
	和歌山	三二、四八一	—	—	—	—	三二、四八一
	計	二五五、一四八	—	—	—	—	二五五、一四八
札幌	北海道	五〇、四八三	一	三	一三	一七	五〇、五〇〇
秋田	秋田	九、七九九	四五五	—	—	四五五	一〇、二五四
	青森	一五、〇一四	—	—	—	—	一五、〇一四
	山形	二九、三二五	—	—	—	—	二九、三二五
	計	五四、一三八	四五五	—	—	四五五	五四、五九三
仙臺	宮城	二六、八九〇	一	—	—	一	二六、八九一
	岩手	一一、八七八	—	—	—	—	一一、八七八
	福島	四二、八一〇	一三	—	—	一三	四二、八二三
	計	八一、五七八	一四	—	—	一四	八一、五九二
宇都宮	栃木	四二、一三二	—	—	—	—	四二、一三二
	茨城	八九、五四六	—	—	—	—	八九、五四六
	群馬	四七、四〇八	—	—	—	—	四七、四〇八
	計	一七九、〇八六	—	—	—	—	一七九、〇八六
長野	長野	三五、六四四	七一八	一〇三	一、四六六	二、二八七	三七、九三一
	新潟	四一、八〇三	—	—	—	—	四一、八〇三
	計	七七、四四七	七一八	一〇三	一、四六六	二、二八七	七九、七三四
名古屋	愛知	二四、〇七八	六六、二六七	二〇、五五一	四七、七八四	一三四、六〇二	一五八、六八〇
	靜岡	五八、三二三	七五三	一〇六	三、五九七	四、四五六	六二、七七九
	三重	二〇、五三五	二八、〇五三	五五四	一九、七七九	四八、三八六	六八、九二一
	岐阜	一、八三八	一一、四七九	一、二八九	一六、九四七	二九、七一五	三一、五五三
	計	一〇四、七七四	一〇六、五五二	二二、五〇〇	八八、一〇七	二一七、一五九	三二一、九三三
廣島	廣島	五八、四九六	—	六	—	六	五八、五〇二
	岡山	四一、二九六	—	—	—	—	四一、二九六
	山口	八六、二五九	—	—	—	—	八六、二五九
	鳥取	一五、三四一	—	—	—	—	一五、三四一
	島根	二七、七四一	—	—	—	—	二七、七四一
	計	二二九、一三三	—	六	—	六	二二九、一三九
丸龜	香川	一一八、九九二	—	—	—	—	一一八、九九二
	德島	一三、〇五一	—	—	—	—	一三、〇五一
	高知	二、四八四	—	—	—	—	二、四八四
	愛媛	三八、四七四	—	—	—	—	三八、四七四
	計	一七三、〇〇一	—	—	—	—	一七三、〇〇一
熊本	熊本	四四、四七五	—	—	—	—	四四、四七五
	福岡	九八、五二九	—	—	—	—	九八、五二九
	大分	三五、三〇一	—	—	—	—	三五、三〇一
	長崎	一九、七二四	—	—	—	—	一九、七二四
	佐賀	一四、二三九	—	—	—	—	一四、二三九
	計	二一二、二六八	—	—	—	—	二一二、二六八
鹿兒島	鹿兒島	一五、二五九	—	—	—	—	一五、二五九
	宮崎	一四、九五五	—	—	—	—	一四、九五五
	沖繩	—	—	—	—	—	—
	計	三〇、二一四	—	—	—	—	三〇、二一四
總計		二、〇七八、二五八	一〇七、七八一	二三、六六一	八九、六〇九	二二〇、〇五一	二、二九八、三〇九

○産業

○汽船「トロール」漁業　明治四十二年農商務省令第三號汽船「トロール」漁業取締規則ニ依リ許可證ヲ下付シタルモノ左ノ如シ

許可番號	第九十五號
住所	長崎市濰島町四十六番戸
氏名又ハ名稱	紀平合資會社
船名	男島丸
操業區域	東經百三十度以西禁止區域以外ノ海面
許可期間	許可ノ日ヨリ十箇年
條件又ハ制限	（一）汽船煙突ノ上端ヨリ煙突ノ直徑ニ等シキ距離以下四呎ヲ白色、其以外ハ全部黑色トシ白色部ノ中央兩舷側ニ許可證番號ヲ黑色ノ亞刺比亞數字ニテ表記スヘシ但シ數字ノ大サハ高サ一呎幅七吋以上タルヘシ（二）操業ノ際在來ノ漁業ヲ妨害セサル樣注意スヘシ
許可年月日	明治四十五年二月二十六日

昨四十四年四月二十六日長崎市浦上淵船津鄕三百七十番戸山野邊右左吉ニ許可シタル第三十四號男島丸汽船「トロール」漁業ハ廢業ノ旨届出テタリ（以上農商務省）

正誤

昨二十七日本欄減刑ノ項中島田昌後ハ嶋田昌後ノ報告誤　司法省參事官

○帝國議會

○貴族院

○議案提出　昨二十七日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

群馬縣下郡界變更ニ關スル法律案

○委員會　今二十八日開會ノ委員會左ノ如シ

豫算委員第一分科會（大藏省所管）

同第三分科會（文部省所管）

同第五分科會（遞信省所管）

請願委員會

以上午前十時

○衆議院

○會議　昨二十七日ノ議事經過左ノ如シ

取引所政策ニ關スル質問（細野次郎提出）

日本勸業銀行農工銀行北海道拓殖銀行ノ年賦償還貸付金利子ニ關スル再質問（高橋直治提出）

小學敎科書ニ關スル質問（綾部惣兵衛提出）

右各質問ハ孰モ趣旨辯明ヲ爲ス

樺太酒類出港稅法案（政府提出）

工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法中改正法律案（政府提出）

明治三十四年法律第十號中改正法律案（政府提出）

右各案ハ一括シテ院議ニ付シ院議其審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決ス

衆議院議員選擧法中改正法律案（政府提出）

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ其數ヲ三十六名トシ議長指名ニ決ス

群馬縣下郡界變更ニ關スル法律案（請願委員長提出）

右議案ハ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ可決ス

市制中改正法律案（小河源一提出）

町村制中改正法律案（小河源一提出）

右議案ハ一括シテ院議ニ付シ院議刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案外一件ノ委員ニ付託スルニ決ス

拘留科料ニ關スル裁判法案（卜部喜太郎外一名提出）

右議案ハ一時其會議ヲ延期スルニ決シ他ハ延會ス

○國務大臣出席　原内務大臣、松田司法大臣、長谷場文部大臣ハ昨二十七日ノ會議ニ出席セリ

○國務大臣演說　原内務大臣ハ昨二十七日ノ會議ニ於テ演說セリ

○答辯　昨二十七日長谷場文部大臣ハ本院ニ於テ左ノ質問主意書ニ對シ答辯セリ

小學敎科書ニ關スル件（綾部惣兵衛提出）

○議案送付　昨二十七日左ノ本院提出案ヲ貴族院ニ送付セリ

群馬縣下郡界變更ニ關スル法律案

○議案提出　昨二十七日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

水道條例中改正法律案（井上角五郎外八名）

鐵道建設ニ關スル建議案（根本正外八名）

神社行政統一ニ關スル建議案（早川龍介）

國稅徵收法中改正ニ關スル建議案（根岸帖太郎外七名）

直江津開港ノ建議案（水品平右衛門外四名）

七尾灣築港ニ關スル建議案（戸水寬人外五名）

金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案（戸水寬人外四名）

私設運河築港ニ關スル建議案（漆昌巖外一名）

○質問書提出　昨二十七日議員ヨリ左ノ質問主意書ヲ提出セリ

官紀振肅ニ關スル件（武田貞之助）

淸國動亂ニ關スル件（柴四朗）

米價騰貴ニ關スル件（武市庫太）

○常任委員辭任　昨二十七日決算委員園山勇（第七部）ハ同委員ヲ辭任セリ

○委員選定　昨二十七日議長ニ於テ委員ヲ左ノ如ク選定セリ

樺太酒類出港稅法案外二件

戸狩　權之助	森　國造	高橋　直治
鷲田　土三郎	黃金井　爲造	平島　松尾
綾部　惣兵衛	淺羽　靖	小橋　榮太郎

衆議院議員選擧法中改正法律案

伊藤　大八	福井　三郎	伊東　要藏
菊池　侃二	吉植　庄一郎	高橋　文質
鶴澤　總明	松田　源治	西村　丹治郎
永江　純一	藤代　市之輔	森　肇
藤澤　幾之輔	木村　良	宮古　啓三郎
小河　源一	寺井　純司	柚木　慶二
戸水　寬人	田中　定吉	山口　熊野

第8605号　本文

濱田　國松	恆松　隆慶	東　武
豐增　龍次郎	藏原　惟郭	板東　勘五郎
井阪　光暉	安達　謙藏	高木　益太郎
紹谷　義三	花井　卓藏	須藤　嘉吉
山本　悌二郎	井上　敏夫	三谷　軌秀

○部會　今二十八日開會ノ部會左ノ如シ

第七部會(決算委員園山勇辭任ニ付キ其補闕選擧)　午前十時

○委員會　今二十八日開會ノ委員會左ノ如シ

決算委員第二分科會(大藏省(鐵道院、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府及樺太廳ヲ除ク)及司法省所管)

明治四十三年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)委員會

學術發明表彰ニ關スル建議案委員會

明治五十年日本大博覽會開催ニ關スル建議案委員會

以上午前十時

請願委員第一分科員中地租免除ノ件外二件特別調查委員會

午後一時

樺太酒類出港稅法案外二件委員會(委員長及理事互選)

衆議院議員選擧法中改正法律案委員會(委員長及理事互選)

以上午前十時

○在外公館報告

○新西蘭ヨリ本邦ヘ肉類輸入ノ計畫　濠洲新西蘭ヨリ本邦ヘ肉類輸入ノ計畫ニ關シ倫敦駐在總領事代理領事官補青木新ヨリ本月七日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ(外務省)

新西蘭ニ於テハ冷肉及罐詰肉ヲ本邦ヘ輸入スルノ計畫アリ同國政府ハ商人ノタメ目下右ニ關スル諸般ノ事項調查中ナル趣ニテ過般在當地同國政府駐在官ヨリ本邦ニ於ケル肉市場ノ狀況ニ付キ問合セ來レリ本邦ニ於ケル肉類ノ價甚タ高ク爲ニ消費ヲ抑制スルノ狀態ニ在ル今日若シ外國肉ヲ安價ニ輸入スルヲ得ハ一般消費者ニ取リテ至大ノ利益タルヤ言フマテモナシ只目下本邦ニ於テ冷肉ノ運搬貯藏ニ必要ナル冷藏庫及冷藏車ノ設備充分ナラサルハ冷肉輸入ニ對スル一大障碍タルヘシト雖モ若シ肉輸入業ニシテ有利且ツ永續的ノモノナルコト明ナルニ至ラハ此障碍ハ容易ニ撤去シ得ラルヘシ

○香港「ペスト」及天然痘週報　在香港帝國總領事館ヨリノ「ペスト」及天然痘患者週報左ノ如シ　本月二十一日本欄內參看(外務省)

地名	期間	病名	新患者	死者	全治	現在	本年初發以來累計 患者	死者	全治
香港	自二月四日至同十日	「ペスト」	四	四	—	二	一七	一五	—
		天然痘	四七	三七	—	五八	二二五	一六七	—

(備考)「ペスト」ハ皆支那人、天然痘ハ英國人二、印度人一、支那人四四ナリ

○新嘉坡腺「ペスト」週報　在新嘉坡帝國領事館ヨリノ腺「ペスト」患者週報左ノ如シ　本月二十一日本欄內參看(外務省)

地名	期間	新患者	死者	全治	現在	本年初發以來累計 患者	死者	全治
新嘉坡	自一月二十七日至二月二日	三	二	不詳	不詳	一〇	九	不詳

○觀象

○全國氣象(備考)ナヲ付シタルハ海面更正ヲ施サス　※ヲ付シタルハ風力ヲ示ス　氣溫ノ最高最低ハ前日ノ觀測ニ依ル

二月二十七日

區	測候所	氣壓 午前六時	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風速	雨量 昨日	天氣
第一區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第二區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第三區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第四區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第五區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第六區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第七區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第八區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第九區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第十區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
韓國	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○天氣概況　低氣壓ハ九州南西部ノ沖ト四國南方ノ遙カ沖合トニ在リ孰モ東方ニ進行ス而シテ朝鮮ノ南西海岸ニモ他ノ低氣壓接近シツヽアリ高氣壓ハ本邦北部ヨリ大平洋ニ擴張ス本州東部ニテハ氣壓七百七十四粍以上ニ昇レリ本邦ニテハ四國ヨリ關東地方ニ亙リ一帶ニ雨天ニシテ九州及北海道ニテハ曇天ノ處多シ東海道沿岸ニテハ北東ノ風稍〻強シ唯琉球及臺灣ノミ概シテ晴天ナリ朝鮮ハ概シテ曇天ニシテ遼東ニテハ降雨セリ

○全國天氣豫報

自二月二十七日午後六時至二月二十八日午後六時二十四時間ノ天氣豫報　二十七日發

第一區　北東ノ風、概ネ曇

第二區　北西ノ風、概ネ曇後晴

第三區　第二區ニ同シ

第四區　西北ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ

第五區　北ノ風、概ネ曇少雨後晴

第六區　第五區ニ同シ

第七區　南西ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ

第八區　第七區ニ同シ

第九區　南西ノ風、概ネ曇ナレトモ雨又ハ雪模樣アリ

第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

北ノ風、曇少雨後霽レル模樣アリ

○暴風警報　風雨強カルヘシ二月二十六日午後四時二乃至四區、同二十七日午前九時五乃至八區ヲ警戒ス

○東京氣象

二月二十六日

氣壓(海面ノ度)平均	七七三・一粍		日照時間	九・七時
氣溫　平均	七・六度	風	平均速度	二・七米
(平年ヨリ二・六度高シ)			最大速度	五・〇米
最高	一四・三度		最多方向	北
最低	二・六度	降水	總量	— 粍
濕度　平均	四七・〇%		一時間最大量	— 粍
水蒸氣張力　平均	三・六粍	蒸發	總量	三・一粍
雲量　平均	六・五	記事	日暈現ル、夜霜アリ	

○地震　前橋外十五箇所ノ地震報告左ノ如シ

地名	日	時刻	記事
前橋	二月十二日	午前七時二十八分六秒	微(感覺ナシ)
前橋	同	午後四時二十七分七秒	微(感覺ナシ)
恆春	同十五日	午前十一時五十一分三十二秒	微(感覺ナシ)
金山	同十七日	午前一時四十九分五秒	微　性質緩
前橋	同	午前一時四十八分三十九秒	微(感覺ナシ)　上下動アリ
名瀨	同十九日	午後一時五十五分五十秒	微(感覺ナシ)
鹿兒島	同二十一日	午前二時三十四分三十秒	微(感覺ナシ)
高山	同二十二日	午後零時四十八分三十秒	微　性質急
宮津	同	午後零時三十一秒	微(感覺ナシ)
福井	同	午後零時四十八分四十秒	微(感覺ナシ)
福井	同二十三日	午後五時二十分零秒	微　性質緩、地鳴アリ
宮津	同	午後五時二十分四十一秒	微　性質緩
名古屋	同	午後五時二十分三十一秒	微(感覺ナシ)
岐阜	同	午後五時二十分三十四秒	微(感覺ナシ)
京都	同	午後五時二十分五十一秒	微(感覺ナシ)
沼津	同	午後五時二十一分四秒	微(感覺ナシ)
彥根	同	午後五時二十一分四十秒	微(感覺ナシ)
神戶	同	午後五時二十一分十八秒	微(感覺ナシ)
津	同	午後五時二十一分四十秒	微(感覺ナシ)
甲府	同	午後五時三十分四十七秒	微(感覺ナシ)
福井	同	午後五時四十三分三十秒	微　性質緩、地鳴アリ

(以上中央氣象臺)

○廣告

○圖書發行

本局編纂

一法令全書　明治四十五年第壹號　全一冊　代價郵稅共金十八錢　但シ郵送ヲ要セサルモノハ金四錢ヲ減ス

右本月二十六日發行本局直賣ノ外左記官報販賣所ニ於テ販賣ス

明治四十五年二月　印刷局

官報販賣所 販賣區域	位置	
東京府、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、神奈川縣、埼玉縣、山梨縣	東京市京橋區銀座一丁目	大日本圖書株式會社
大阪府、兵庫縣、和歌山縣、鳥取縣	大阪市西區靭中通一丁目	玉手　弘通
京都府、奈良縣、滋賀縣	京都市上京區柳馬場通二條下ル	合資會社 商報會社
靜岡縣、愛知縣、三重縣、岐阜縣	名古屋市中區南武平町三丁目	合名會社 永東書店
廣島縣、岡山縣、島根縣、山口縣	廣島市大手町二丁目	早速　勝三
香川縣、高知縣、愛媛縣、德島縣	丸龜市大字富屋町	木村　諦一郎
福岡縣、長崎縣、佐賀縣	福岡市中島町	石田　忠兵衞
熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣	熊本市新町二丁目	長崎　次郎
新潟縣、長野縣	新潟市本町通四番町	高橋　モト
石川縣、富山縣、福井縣	金澤市片町	宇都宮　源平
北海道、宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣	仙臺市東三番丁	佐々木重兵衞

大藏省編纂

一明治四十五年一月分　大日本外國貿易月表

右發行ス

明治四十五年二月　大藏省

販賣所　東京市京橋區中橋和泉町五番地　凞陽堂　小出　美房

○列車運轉時刻改正

來ル三月一日ヨリ左記列車ノ運轉時刻ヲ改正ス

但シ詳細ハ關係停車場ニ掲示ス

明治四十五年二月　鐵道院

一京都午前六時四十分發神戶行列車大阪神崎間時刻變更ノ上神崎驛ニ一分間停車ス

一下關前日午後十一時四十分發京都行列車ヲ西宮驛ニ一分間停車シ神崎驛ヲ通過ス

一明石午後四時五十二分發京都行列車西宮驛ノ停車ヲ止メ神崎驛ニ一分間停車ス

○列車增發竝運轉時刻一部變更

來ル三月一日ヨリ當局線豐州本線柳ケ浦、中津間及柳ケ浦、日出間ニ於テ各〻一往復ノ混合列車ヲ增發シ竝ニ現在列車ノ運轉時刻ヲ一部變更ス

明治四十五年二月　九州鐵道管理局

○華族世襲財產認可

鳥取縣西伯郡幡郷村及所子村ノ內

一田合段別三段八畝十步　侯爵池田仲博所有

香川縣三豐郡上高瀨村及下高瀨村ノ內

一田合段別三畝八步　子爵京極高德所有

右世襲財產ト爲スコトヲ明治四十五年二月二十七日宮內大臣認可ス

明治四十五年二月　宗秩寮

第8605号　本文

○收容貨物公告中訂正

本月二十六日本欄內揭載當關收容貨物公告中記號番號ノ部「Nash」ヲ「Wash」ニ、「Mssrs」ヲ「Mesrs」ニ、「Nos」ヲ「Noss」ニ、「AC+Co」ヲ「AC & Co」ニ孰モ訂正ス

明治四十五年二月　横濱稅關

○檢定教科用圖書

中學校數學科用

中學教科代數　全二冊　定價上卷金六十錢、下卷金五十七錢

明治四十五年二月二十日訂正再版發行

著作者　福岡縣士族　寺尾壽　石川縣士族　吉田好九郎

發行者　東京府東京市神田區裏神保町九番地　合資會社富山房

右明治四十五年二月二十六日檢定ス

明治四十五年二月　文部省

○生徒募集

本年四月入學セシムヘキ當校專攻科第一學年生徒約三十五人ヲ募集ス入學志願者ハ左記ノ要項ヲ心得ヘシ

明治四十五年二月　東京女子高等師範學校附屬高等女學校

一　入學志願者ハ修業年限五箇年ノ高等女學校卒業者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

二　入學志願者ハ本年四月二日マテニ當校ニ到著スヘキ日取ヲ以テ左式ノ履歷書ヲ差出スヘシ

履歷書（用紙半紙）

族籍何某幾女姉妹又ハ戶主等

（此所ニ志望ノ部ヲ記載スヘシ）

何　某

生年月日

一　原籍地

二　居住地

三　家長ノ姓名及職業（他人ノ家ニ寄寓スルトキハ其家ノ家長ノ姓名職業ヲモ併記スヘシ）

四　從前ノ教育

明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何地何學校ニ於テ何科第何學年修了又ハ卒業或ハ明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何地何某ニ就キ又ハ家庭ニ於テ何々修業等

五　賞罰

明治何年何月何地何所ニ於テ何々ニツキ褒賞又ハ懲罰ヲ受ク等

六　健康ノ狀態

生來著シキ疾病ニ罹リシコトノ有無及病名竝ニ目下ノ狀態等

右ノ通ニ御座候

年　月　日

族籍居住地及本人トノ關係

何　某㊞

三　學力試驗ノ科目ハ左ノ如シ但シ英語ハ入學後之ヲ學習セントスル者ニ限リ試驗ス

國語　講讀、作文、文法　數學　算術、幾何初步

英語　讀方、譯解、作文、文法、會話

四　各科目ノ試驗ハ修業年限五箇年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依ル

入學檢定ハ本年四月四日五日兩日左ノ時間割ニ依リ當校內ニ於テ之ヲ施行ス

日　時	午前（九時ヨリ十時マテ）	午前（十時ヨリ十一時マテ）	午前（十一時ヨリ十二時マテ）	午後（一時ヨリ二時マテ）	午後（二時ヨリ三時マテ）
四月四日（木曜）	數學	數學	國語	國語	國語
四月五日（金曜）	英語	身體檢查			

五　入學志願者ハ入學檢定ノ當日午前八時四十分マテニ左ノ物品ヲ攜帶シテ當校ニ出頭スヘシ

半紙　鉛筆　小刀　辨當

（注意）入學志願者ハ當校ニ就キ若クハ本月十日ノ官報ニ依リ改正規則ヲ承知スヘシ

○森林主事特別任用試驗合格者中訂正

本月二十三日本欄內揭載當署執行森林主事特別任用試驗合格者公告中「菊地助治」ハ「菊池助治」「小熊計太郎」ハ「小熊計太郎」「菊地多吉」ハ「菊池多吉」「石井久造」ハ「石井久治」ノ孰モ誤ニ付キ訂正ス

明治四十五年二月二十八日　宮城大林區署

○郵便物遭難

本月十一日對馬運輸株式會社汽船凌波丸沈沒ノタメ同船搭載郵便行嚢通常十一箇、小包四十一箇孰モ流失セリ

明治四十五年二月　遞信省

○免狀亡失

第四號　乙種二等狩獵免狀　東京市京橋區木挽町九丁目三十三番地平民無職　伊藤常次郎

右亡失ノ旨屆出テタリ

明治四十五年二月　警視廳

第三四八號　乙種三等狩獵免狀　東成郡天王寺村大字天王寺二千四十五番地　幸田寅之助

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十五年二月　大阪府

第八三號　乙種三等狩獵免狀　西春日井郡金城村大字東志賀五百三十八番地　長瀨忠次郎

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十五年二月　愛知縣

第九〇號　乙種三等狩獵免狀　庵原郡庵原村杉山四四番地　大木清藏

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十五年二月　靜岡縣

今第三四號　乙種三等狩獵免狀　越智郡西伯方村大字北浦二四七番戶　赤瀨七五郎

久第九五號　同上　上浮穴郡父二峯村父ノ川二七番戶　正岡嘉太郎

右孰モ遺失ノ旨屆出テリ

明治四十五年二月　愛媛縣

第一五六九號　乙種三等狩獵免狀　直入郡白丹村大字白丹三六一番地　河野初平

右遺失ノ旨屆出テタリ

明治四十五年二月　大分縣

○字區域變更

耕地整理施行ノタメ下益城郡豐福村及菊池郡清泉村地內字區域ヲ今般左ノ通變更セリ

明治四十五年二月　熊本縣

下益城郡豐福村

大字竹崎ノ內

字新開二千九十七番ノ內九畝步、二千九十八番ノ內九畝十步、二千九十九番ノ內一段步、二千百番ノ內八畝十步、二千百一番、二千百二番ノ內二畝八步、二千百三番ノ內八畝十五步、二千百四番ノ內二段八畝二十九步、二千百五番、二千百六番ノ內一畝步、二千百七番ノ內五畝二十步、二千百八番ノ內五畝二十三步、二千百十番ノ內二畝十二步

右字滿ケ瀨ニ變更

字滿ケ瀨二千百二十一番ノ內十步、二千百二十三番ノ內一畝十五步、二千百二十四番ノ內七畝十九步、二千百二十五番、二千百二十六番、二千百二十七番、二千百二十八番、二千百二十九番、二千百三十番、二千百三十一番、二千百三十二番、二千百三十三番、二千百三十四番、二千百三十五番、二千百三十六番、二千百三十七番、二千百三十八番ノ內六畝五步、二千百三十九番、二千百四十番ノ內八步、二千百四十一番ノ內四畝二步、二千百四十二番ノ內八畝步、二千百四十四番ノ內六步

右字新開ニ變更

大字兩仲間ノ內

字中割二千二百六十八番ノ內一畝二十四步、二千二百六十九番ノ內一畝二十步、二千二百七十番ノ內一畝十五步、二千二百七十一番ノ內三畝步、二千二百七十二番ノ內三畝十步、二千二百七十三番ノ內三畝十三步、二千二百七十四番ノ內三畝十七步、二千二百七十五番ノ內三畝二十四步、二千二百七十六番ノ內六畝步、二千二百七十七番ノ一ノ內二步、二千二百七十七番ノ二ノ內五步

右大字竹崎字滿ケ瀨ニ變更

字中割二千二百六十八番ノ內二十四步、二千二百六十九番ノ內六畝步、二千二百七十番ノ內八畝十二步

右大字竹崎字新開ニ變更

大字竹崎ノ內

字滿ケ瀨二千二百七番ノ內二步、二千二百八番ノ內六步、二千二百九番ノ內十八步、二千二百十一番ノ內二十步、二千二百十二番ノ內一畝十二步、二千二百十三番ノ內一畝八步、二千二百十四番ノ內一畝二十步、二千二百十五番ノ內二畝十六步、二千二百十六番ノ內二畝九步、二千二百十七番ノ內三畝步、二千二百十八番ノ內三畝十三步、二千二百二十番ノ內三畝步、二千二百十九番ノ內三畝六步

右大字兩仲間字中割ニ變更

菊池郡清泉村

大字小野崎ノ內

字松島三百二十五番、三百二十六番、三百二十七番、三百二十八番、三百二十九番、三百二十三番、三百二十四番、三百三十番、三百三十一番、三百三十二番、三百三十三番、三百三十四番ノ內二十步、三百三十五番ノ內一畝十四步、三百三十六番ノ內一畝七步、三百四十一番ノ內一畝二十一步、三百四十二番ノ內四畝七步

右字牟賀塚ニ變更

大字橋田ノ內

字水春四百七十九番、四百七十八番、四百七十七番、四百七十六番、四百七十五番ノ內四畝十六步、四百八十番ノ內十步、四百八十一番ノ內五畝十六步、字前田二百七十二番ノ內二段一步

右字牟田ニ變更

字牟田二百二十番ノ內十三步、二百二十一番、二百二十二番ノ內一畝十五步、字盜人瀨五百十一番ノ一ノ內二步、五百十番ノ一ノ內九步、五百三十四番ノ一ノ內五步、五百三十五番ノ一ノ內一畝二十步、五百三十七番ノ一ノ內一畝步、五百三十八番ノ一ノ內一畝六步、五百三十九番ノ一ノ內二畝步、五百四十番ノ內四畝十三步、五百四十三番ノ內三畝十三步、五百四十四番ノ內一畝十四步、五百四十六番（五百四十五番）合併ノ內二畝四步、五百四十七番ノ內一畝步

右字水春ニ變更

字牟田二百七十一番ノ內四畝步、字前田二百七十二番ノ內二畝步、二百七十三番ノ內十四步、字水春四百七十五番ノ內一畝步、四百七十四番ノ內五畝步、四百七十三番ノ內四畝二十八步、四百七十二番ノ內二畝三步、四百七十一番ノ內三畝二十三步、四百七十番ノ內十步、四百六十七番ノ內二十步、四百六十六番ノ內二十四步、四百六十五番、四百六十四番ノ內十六步、四百六十二番ノ內九步、四百六十一番ノ內十步、四百五十九番ノ內二畝步、四百五十八番ノ內二十步、四百五十七番ノ內四畝十步、四百五十四番ノ內二畝二十步、四百五十二番ノ內十一步、四百五十三番、四百四十六番、四百四十五番ノ內七畝十步、四百五十番ノ內八步、四百四十九番ノ內四步、四百四十八番ノ內六步、四百四十七番ノ內十五步、四百四十三番ノ內二步、四百三十番ノ內四畝步、四百二十八番、四百二十九番、字盜人瀨五百五十番ノ內二畝步、五百五十二番ノ內三畝二十四步、字大燒五百五十七番ノ內一畝步、五百五十三番ノ內一畝十二步（五百五十四番 五百五十五番）合併ノ內一畝二十五步、五百五十六番ノ內二畝五步、五百五十八番ノ內七步、五百八十三番ノ內二十五步、五百八十四番ノ一ノ內十二步、五百八十一番ノ二ノ內二十九步、五百八十五番ノ內一畝三步、五百八十六番ノ內二十八步、五百八十七番ノ內一畝六步、五百七十九番ノ內二十四步

右字深町ニ變更

大字橋田ノ內

字水春四百八十七番ノ內一畝步、四百九十番ノ內一畝十五步、四百九十一番ノ內一畝步

右大字小野崎字松島ニ變更

字盜人瀨五百四十七番ノ內二十四步、五百五十番ノ內一段一畝二十五步、五百五十二番ノ內一段九畝步

右字火燒ニ變更

○購買入札

第一號　精牛肉　九万八千貫

第二號　石炭　四百万斤

第三號　馬鈴薯　一万貫

第四號　木箱　三万箇

第五號　同　一万三千箇

第六號　同　一万五千箇

第七號　同　七千箇

以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿圓位ニ切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ當廠ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上來ル三月十三日午前十一時限當廠ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ陸軍糧秣本廠長渡邊賢次郎擔任ス

明治四十五年二月二十八日　陸軍糧秣本廠

第一號　精米　五百五十石　鳥取屯在部隊納

第二號　同　七十石　舞鶴屯在部隊納

第三號　大麥　六万貫匁　姬路屯在部隊納

第四號　藁　七万五千貫匁

以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、入札者ハ滿二年以上引續キ當該營業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ各入札スヘキ部隊ニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ來ル三月十三日マテ（執務時間內）ニ第一號ハ當部若クハ鳥取步兵第四十聯隊ニ、第二號ハ當部若クハ舞鶴要塞司令部ニ、第三號、第四號ハ當部ニ就キ入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上同十四日午前十時第一號ハ鳥取步兵第四十聯隊、第二號ハ舞鶴要塞司令部、第三號、第四號ハ當部ニ入札スヘシ即時開札ス但シ郵便又ハ電報ヲ以テ入札スルコトヲ得

此契約ハ第十師團經理部長大野鐵次郎擔任ス

明治四十五年二月二十八日　第十師團經理部

一　帆布　三千四百六十五米

入札保證金各自見積代金百分ノ五以上、入札者ハ二年以來繼續シ現ニ其營業ニ從事スル證明書ヲ來ル三月十三日マテニ當部第二課ニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ當部第二課ニ就キ契約書案及入札心得書等熟覽ノ上來ル三月十四日午前十時限同課ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ吳海軍經理部長中堀順吉擔任ス

明治四十五年二月二十八日　吳海軍經理部

一　百七十磅七箇撚鋼線千百二十貫外一點

二　百磅鐵線千五百十三貫外三點

東京納　入札保證金每廉各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課用度係ニ就キ見本、仕樣書、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル三月六日午前十一時マテニ入札保證金納入正午十二時限入札スヘシ即時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ遞信省經理局長町田重備擔任ス

明治四十五年二月二十八日　遞信省經理局

第一號　電柱　二百六本

第二號　同線用腕木外八點

以上入札保證金各自各號見積額百分ノ五以上、契約保證金落札代金百分ノ十以上（圓未滿切上ケ）

入札者ハ滿二年以來其營業ニ從事シ且ツ明治四十一年五月遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課ニ就キ見本、仕樣書、圖面、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル三月六日午前十時三十分マテニ入札保證金納入同十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ熊本遞信管理局長田中武雄擔任ス

明治四十五年二月二十八日　熊本遞信管理局

○購買入札公告中訂正

昨二十七日本欄內揭載當局購買入札公告中來ル三月十三日開札「二　同　七箇」ハ「二　自働受信機（重錘ナシ）　七箇」ノ誤ニ付キ訂正ス

明治四十五年二月二十八日　遞信省經理局

○請負入札

一　木製汽船梅浦丸　總噸數二十六噸一七　碇繫港　神戶

入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、入札者ハ滿二年以上引續キ當該營業ニ從事セル旨市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ當部ニ差出スヘシ

右修繕ス請負望ノ者ハ入札人心得書、契約書案及仕樣書ハ當部又ハ當部神戶出張所ニ、現品ハ碇繫場ニ就キ熟覽ノ上來ル三月六日午前十一時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ陸軍運輸部本部長千秋直之擔任ス

明治四十五年二月二十八日　陸軍運輸部本部

○工事請負入札

一　廣島陸軍被服支廠職工休憩所其他新設工事

入札保證金各自見積金高百分ノ五以上、入札者ハ滿二年以上引續キ其業ニ從事シ且ツ明治四十一年六月陸軍省令第十三號ニ依ル資格アル旨郡市區町村長ノ證明セル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ印鑑證明書ヲ添ヘ當部ニ差出スヘシ

第8605号　本文

○入札拂下

明治四十五年二月二十八日　横須賀海軍經理部

○海軍發表

明治四十五年二月二十八日　佐世保海軍經理部

明治四十五年二月二十八日　第一師團經理部

明治四十五年二月二十八日　佐世保海軍工廠會計部

明治四十五年二月二十八日　中部鐵道管理局

明治四十五年二月二十八日　第五師團經理部

第 8605 号　本文

第8605号　本文

○臺灣銀行券發行週報

臺灣銀行券發行高週平均高報告（自明治四十五年二月十一日至明治四十五年二月十七日）

銀行券發行高		一八、三二五、三三八・〇〇〇
準備	銀貨及銀塊	二、九二一、九四七・〇〇〇
	金貨及金塊	六、〇一六、九二六・〇〇〇
	準備合計	八、九三八、八七三・〇〇〇
保證準備	公債證書	三、一三〇、〇〇七・〇〇〇
	政府證券	四、五一四、二八六・〇〇〇
	商業手形	一、七四二、一七二・〇〇〇
	保證合計	九、三八六、四六五・〇〇〇

明治四十五年二月二十日　株式會社臺灣銀行

○東京中央郵便局外國郵便締切時限

今二十八日横濱マテ汽車便送同地ヨリ佐渡丸ヲ以テシアトル經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	中央局	市内集配局
通常（普通）	二十八日午前九時	—
通常（書留）	同日午前八時半	—

聯合爲替	二十八日午前八時	—

明二十九日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「ルセリック」號ヲ以テバンクーバー經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル（延期）

	中央局	市内集配局
通常（普通）	二十九日午前十時半	二十九日午前八時
通常（書留）	同日午前十時	同上
小包	二十八日午後十二時	二十八日午後十一時

爲替（聯合）	二十九日午前九時半	同日午後四時
爲替（特別）	二十八日正午十二時	同日正午十二時

（備考）小包ハ北米合衆國及加拿陀宛トス

○同上締切豫告

三月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一タコマ經由歐米諸國宛　二、六、二十、三十日頃締切ノ筈
一バンクーバー經由同　三、二十一日頃締切ノ筈
一布哇及桑港經由同　五、十三、十九、二十六日頃締切ノ筈
一シアトル經由同　十三、二十七日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭及烏爾圭ニ限ル）宛（日曜日、露國義勇艦隊船、普通午後七時半、書留及小包各々午後七時／火曜日、同上、同上／木曜日、鳳山丸、同上）
一海上並ニ香港、印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

安藝丸　今二十八日正午十二時横濱出帆三月二日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

濠洲行

日光丸　三月二日正午十二時横濱出帆同五日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

米國行

佐渡丸　今二十八日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行
因幡丸　三月九日正午十二時神戸出帆同十三日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行

南米行

神奈川丸　三月十日神戸出帆新嘉坡、ナタル、サントス行（普通船客謝絶）

上海、香港行

山口丸　明二十九日午前十時横濱出帆三月二日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
春日丸　三月三日午前十時横濱出帆同五日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
丹波丸　同四日午前十時横濱出帆同八日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行
博愛丸　同七日午前十時横濱出帆同九日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

孟買行

孟買丸　三月八日未明神戸出帆門司、香港、新嘉坡、コロンボ、孟買行（船客謝絶）

カルカッタ行

廣島丸　三月一日未明神戸出帆門司、香港、新嘉坡、彼南、ラングーン、カルカッタ行（船客謝絶）

浦潮斯德行

立神丸　三月十日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行

朝鮮、北清方面行

淡路丸　明二十九日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽行
營口丸　三月七日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽行
酒田丸　同八日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

小笠原島行

芝罘丸（三月二日正午十二時横濱出帆館山、大島、八丈島行／同十日午後二時横濱出帆八丈島、父島、母島行）

臺灣行

信濃丸　毎月神戸發正午十二時（四日／十九日）　門司發午後四時（五日／二十日）　基隆著拂曉（八日／二十三日）
備後丸　毎月神戸發正午十二時（十二日／二十七日）　門司發午後四時（十三日／二十八日）　基隆著拂曉（十六日／三十一日又ハ一日）

本州、北海道連絡線

毎日（午後八時半　青森發　翌朝八時半　室蘭著／午後五時　室蘭發　翌朝五時　青森著）

○大阪商船株式會社汽船出發表

朝鮮行

大信丸　三月一日正午十二時神戸出帆宇品、門司（下關）、釜山、元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
群山丸　同二日正午十二時神戸出帆門司（下關）、釜山（大邱）、木浦、群山（江景）、仁川（京城）行
漢城丸　同六日正午十二時神戸出帆門司（下關）、釜山（大邱）、馬山、木浦、群山（江景）、仁川（京城）行

清國行

嘉義丸　明二十九日午前十時神戸出帆翌一日午後一時門司出帆大連行
溫州丸　三月一日午前十時神戸出帆門司、天津行
（天津行ハ白河ヲ溯航シ居留地碼頭ニ横付ス）
臺中丸　同四日午前十時神戸出帆翌五日午後一時門司出帆大連行
天草丸　同七日午前十時神戸出帆翌八日午後一時門司出帆大連行

米國行

志あとる丸　三月六日午後横濱出帆ビクトリア、シアトル、タコマ行

香港行

かなだ丸　三月八日午前横濱出帆神戸、門司、上海、香港行

臺灣行

臺北丸　今二十八日午後三時横濱出帆三月二日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
地久丸　明二十九日正午十二時横濱出帆三月六日午前八時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行
笠戸丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
亞米利加丸　毎月一日、十五日、正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　三月一日午後四時敦賀出帆同三日浦潮斯德著
（日曜日浦潮斯德發歐洲行急行接續列車ニ連絡ス）

○號外　昨二十七日發刊　帝國議會第二十八回　貴族院議事速記錄第六號十頁
○附錄　今二十八日發刊廣告八頁

第8605号　本文

官報第八千六百五號附錄

明治四十五年二月二十八日

○廣告

○商業登記

京成電氣軌道株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役乙訓寛吉ハ明治四十五年一月二十八日死亡セリ
日本教育生命保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役柳原義光瀧山瑄ハ明治四十五年一月二十九日重任シ酒井靜雄ハ同日退任シ森田彦季ハ同日取締役ニ就任ス

東京市麻布區櫻田町三十八番地　柳原義光
大阪市東區北濱四丁目三十一番地　瀧山瑄
東京市赤坂區青山南町六丁目百四十六番地　森田彦季

一監査役平瀬三七雄ハ明治四十五年一月二十九日重任シ同森田彦季ハ同日退任シ酒井靜雄ハ同日監査役ニ就任ス

大阪市東區北濱四丁目三十四番地　平瀬三七雄
東京市芝區高輪南町四十五番地　酒井靜雄

右明治四十五年二月五日登記

東京區裁判所

明治石油株式會社登記事項中左ノ如ク變更及更正ス
一明治四十五年一月二十四日一株ノ金額各株ニ付拂込ミタル株金額及各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ左ノ如ク變更ス
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一各新株ニ付拂込ミタル株金額
一監査役左者明治四十五年一月二十四日重任ス

長岡市坂上町五十七番地　風間退三
東京市京橋區南鍋町一丁目四番地　原田敬吾
大阪市南區天王寺烏ケ辻五千七百五十一番地　平賀敏

一監査役風間退三ノ住所ヲ左ノ如ク更正ス
長岡市東坂上町一丁目六百四十九番地
日本練瓦製造株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役野中眞神谷十松諸井恒平竹井澹如ハ明治四十五年一月十八日退任シ左者ハ同年同月二十四日取締役ニ就任ス

東京市本郷區眞砂町十七番地　諸井恒平
埼玉縣大里郡大寄村大字上敷免八十九番地　野中眞
同所　神谷十松
東京市本郷區湯島新花町九十四番地　諸井四郎
同市淺草區須賀町二番地　伊藤新作

一監査役左者明治四十五年一月二十四日重任ス
東京市日本橋區堀留町二丁目十二番地　日比谷平左衛門
同市同區濱町一丁目一番地　益田太郎

株式會社起業銀行登記事項中左ノ如ク更正及變更ス
一監査役池田季雄ノ住所ヲ東京市下谷區御徒町三丁目八十六番地ト更正ス
一監査役左者明治四十五年一月二十九日重任ス
東京市麻布區笄町百三十四番地　秋山源藏
同市下谷區御徒町三丁目八十六番地　池田季雄

株式會社仙人製鐵所登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役ニ左者明治四十五年一月二十八日就任ス
東京市麻布區富士見町十四番地　鄒澤備

奔別炭礦株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役栃内元吉ハ明治四十五年一月二十八日退任シ同赤井幾藏ハ同日重任シ加藤爲二郎ハ同日監査役ニ就任セリ

北海道根室町大字花咲町三丁目十一番地　赤井幾藏
東京市神田區中猿樂町十七番地　加藤爲二郎

株式會社榮[illegible]銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役宮崎代七ハ明治四十五年一月二十五日辭任シ左者ハ同月二十七日取締役ニ就任セリ

東京市麻布區田島町五十九番地　片岡靜輔

一監査役片岡靜輔ハ明治四十五年一月二十五日辭任セリ
明治信託株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役酒井仙順ハ明治四十五年一月二十四日退任シ左者同日監査役ニ就任ス

東京市麹町區飯田町六丁目六番地　土屋復丸

合名會社登記簿第十四冊第六六四號
一商號　日東合名會社
一本店　東京市下谷區仲御徒町三丁目三十二番地
一目的　金員ノ貸付ヲ爲シ利殖ヲ得ルヲ目的トス
一設立ノ年月日　明治四十五年二月五日
一代表社員ノ氏名　大久保鎌之助
一社員ノ氏名住所、出資ノ種類及價格
金二千圓　東京市下谷區仲御徒町三丁目五十八番地　大久保鎌之助
金二千圓　同市同區中根岸町九十三番地　岩田仁三郎
金二千圓　同市淺草區千束町三丁目百五十八番地　山田金太郎
金二千圓　同市神田區豐島町二十六番地　野崎銀藏
金二千圓　同市日本橋區馬喰町四丁目十九番地　柴崎幸藏

敷島貯金合資會社登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及年月日　總社員同意ニ依リ明治四十五年二月二日解散ス
帝國生命保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役左者ハ明治四十五年一月三十一日重任セリ

東京市京橋區出雲町一番地　福原有信
同市芝區西久保巴町二十四番地　矢野義徹
同市日本橋區伊勢町十六番地　小西安兵衛
同市麻布區三河臺町二十七番地　志賀直溫
同市赤坂區新坂町八十番地　北里裟袈男

一監査役左者ハ同日重任セリ
東京市芝區白金三光町五十二番地　森下岩楠
同市同區三田四國町十四番地　前田清則

合資會社登記簿第四五冊第二一九三號
一商號　合資會社松田商店
一本店　東京市淺草區瓦町二十二番地
一目的　洋傘原料竝ニ和洋織物類販賣
一設立ノ年月日　明治四十五年二月五日
一存立時期及解散ノ事由　明治四十五年二月五日ヨリ同五十五年二月四日マテ滿十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
勞務　無限　東京市淺草區瓦町二十二番地　松田愛之助
金五百圓　有限　同市本所區相生町一丁目六番地　渡邊清三郎
金五百圓　同　同市下谷區龍泉寺町三十四番地　山田善吉

合資會社登記簿第四五冊第二一九四號
一商號　合資會社相益社
一本店　東京市京橋區木挽町一丁目一番地
一目的　土地家屋賣買抵當ノ仲介山林鑛山賣買抵當ノ仲介手形賣買ノ仲介及土地家屋ノ管理生命火災保險選定仲介財產整理ノ受託貸借其他金錢ノ取立有價證券賣買抵當ノ仲介內外國債賣買ノ取扱土木建築工事ノ仲介前項ニ附帶シタル諸般ノ業務

第8605号付録

第8605号　付録

第8605号 付録

第8605号　付録